

釜無川レクリエーションセンター 解体工事

図面リスト					
統番	図番	図番	統番	図番	図番
1		表紙・図面リスト	25	A-22	外壁 アスベスト撤去図(立面図1)
2	特記-01	特記仕様書【解体工事】 1	26	A-23	外壁 アスベスト撤去図(立面図2)
3	特記-02	特記仕様書【解体工事】 2	27	A-24	ラップルコンクリート位置図
4	A-01	設計概要・外部仕上表・内部仕上表1	28	A-25	解体後外構図
5	A-02	内部仕上表2	29	A-26	仮設計画図
6	A-03	内部仕上表3	30	E-01	外部電気設備配管等 撤去図
7	A-04	案内図	31	M-01	外部給排水設備配管等 撤去図
8	A-05	現況配置図			
9	A-06	建物求積図			
10	A-07	既存建物 1階平面図			
11	A-08	既存建物 2階平面図			
12	A-09	既存建物 PH階平面図			
13	A-10	既存建物 B1階平面図			
14	A-11	既存建物 南・西立面図			
15	A-12	既存建物 北・東立面図			
16	A-13	植栽撤去図			
17	A-14	舗装撤去図			
18	A-15	付帯施設等撤去図			
19	A-16	撤去詳細図1			
20	A-17	撤去詳細図2			
21	A-18	アスベスト撤去図 1階平面図			
22	A-19	アスベスト撤去図 2階平面図			
23	A-20	アスベスト撤去図 PH階平面図			
24	A-21	アスベスト撤去図 B1階平面図			

釜無川レクリエーションセンター			
解体工事設計図			
建物概要			
工事場所	甲斐市 西八幡字上川除付	4268-6の一部、4259-11の一部	
敷地面積	2,953.71 m ²		
用途	公衆浴場		
構造・階数	鉄筋コンクリート造(一部木造) 2階建		
建築面積	731.69m ²	延べ面積	1,279.10m ²
区域区分	市街化区域	用途地域	無指定
防火地域	無指定		
その他の区域	騒音規制法による規制	あり(第 号区域)	なし
	振動規制法による規制	あり(第 号区域)	なし
建物の棟別の詳細は、設計図を参照。			

施工条件	
項目	適用・条件等
①作業時間等	指定あり・指定なし (ありの場合の条件) ・騒音、振動規制法による作業禁止日、時間帯(特定建設作業に限る。) ・夜間作業 行わない
②駐車場その他	工事用車両の駐車場所 ○場内(任意) ・図示 資機材の置場所 ○場内(任意) ・図示
③着手前対応	・工事に先立ち、周辺住民に対して工事説明を行なう。(発注者同席予定) (説明会予定時期・令和 年 月 日 実施時期未定) 建築物除却届 必要(施工者作成とする。)
④その他施工条件	(は参考記載のため、各工事条件に併せて記述を変える。) ・工事時と同時に、備品等の撤去作業を別途予定している。 解体工事にあたり、備品撤去作業の受注者と十分な調整を行うこと。

仕様書	
共通仕様	
1. 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築物解体工事共通仕様書 令和4年版」(以下「解体共通仕様書」という。)による。 解体共通仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版(以下、「標準仕様書」という。))及び「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版(以下、「改修標準仕様書」という。))による。	
特記仕様	
1. 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 2. 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、印の付いたものを適用する。 ○印と○印の付いた場合は、共に適用する。 3. 特記事項に記載の(. . .)内の表示番号は、解体共仕の当該項目、当該図または当該表を示す。 特記事項に記載の(標仕 . . .)内の表示番号は、標仕の当該項目、当該図または当該表を示す。 4. 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また()内は製品名を示す。	

章	項目	特記事項												
1	① 工事実績情報 の登録	請負工事費 600万円以上の場合は登録する。(1.1.4)												
一般 共通 事項	② 監理技術者の要件	建築工事に係る監理技術者証を有するもので、次のいずれかの要件を満たす監理技術者を専任で配置すること。 1 建築工事の施工に関し、10年以上の実務経験を有すること。 2 一級建築士又は一級建築施工管理技士の資格取得後4年以上の実務経験を有すること。												
	③ 電気保安技術者	・適用する 適用しない (1.3.3)												
	④ 解体工事における 監督者の要件	解体工事の施工は、次のいずれかの者の監督の下で実施すること。 1 解体工事施工技士 2 解体工事の実務経験が1年半以上の者で、建設リサイクル法で定める「技術管理者」の資格要件を有する者。												
	⑤ 施工条件	解体共通仕様書によるほか、左記施工条件及び図示による。(1.3.5)												
	⑥ 交通安全管理 (出入りの管理)	(1.3.7) 工事現場への出入口には、解体工事期間中、交通誘導員等を配置し、公衆の交通に支障をあたえないようにしなければならない。又、近接して他の建設工事等が行われる場合には、施工者間で交通の誘導について十分な調整を行い、交通安全を図らなくてはならない。 工事現場への車両等を出入りさせる場合には、道路構造物及び交通安全施設等に損害を与えることのないよう注意しなければならない。なお損傷させた場合は、直ちに当該管理者の指示により復旧しなければならない。												
	⑦ 周辺構造物対策	工事にあたって、周辺地盤のゆるみ又は沈下、構造物の破損、汚損等に十分注意するとともに、必要に応じて構造物の補強又は養生等について、その構造物の管理者とあらかじめ協議し、危害防止のための措置を講じなければならない。												
	⑧ 公共設備等 への対策	工事による影響があると思われる範囲内の公共埋設物、架空線等の処理等について、十分配慮して工事しなければならない。 公共の埋設物、架空線等に接近して工事を施工する場合は、あらかじめその埋設物、架空線等の関係者と協議し、施工の各段階における保安上必要な措置、埋設物、架空線等の防護方法、立会の有無、緊急時の連絡先及び連絡方法等を決定しておかなければならない。												
	⑨ 発生材の処理	構外搬出適切処理 発注者に引渡しを要する発生材 ・PCB含有物 ・金属類 工事現場において再利用を図るものと再資源化を図るもの												
	⑩ 石綿含有建材の 事前調査	工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。(1.4.1) 調査範囲 ・図示 貸与資料 ○ 調査報告書 分析による石綿含有の調査 ・行う(下表による) ○行わない <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th> <th>定性分析方法</th> <th>定量分析方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> </tr> </tbody> </table> 上記以外に調査が必要と思われる箇所があった場合は、監督員と協議すること。	材料名	定性分析方法	定量分析方法		・ 箇所	・ 箇所		・ 箇所	・ 箇所		・ 箇所	・ 箇所
	材料名	定性分析方法	定量分析方法											
		・ 箇所	・ 箇所											
	・ 箇所	・ 箇所												
	・ 箇所	・ 箇所												
11	施工数量調査	調査範囲 ・図示 調査方法												
12	完成図等	下記のものを作成し提出する。作成方法・部数等は、監督員の指示による。 ・案内図及び配置図 ○残置物等の配置図 ・竣工図(A3 部) ・CADデータ ・下記図面をCADデータ化し電子媒体にて提出する。作成方法・媒体等は、監督員の指示による。 案内図、配置図、残置物等の配置図、その他監督員が指示した図面												
13	施工図等の取扱	施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。												
14	工事完成写真	工事履行後、整理のうえ監督員に提出する。 工事完成写真は、着手前の敷地全景(敷地の位置は朱線で記入)、外部全景4面、内部主要各室、屋外施設その他監督員が必要と認め指示した箇所等とする。												
15	工事施工状況写真	工事施工状況写真の撮影は、工事に係る材料、施工及び品質管理の状況が確認できるように行うものとし、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 営繕工事写真撮影要領(令和5年版)による工事写真撮影ガイドブック(令和5年度版)」を参考とする。 提出部数 工事完成写真と併せ 1部 形式等は「甲斐市建設工事電子納品取扱基準」による。												

2	仮設工事	① 騒音・粉じん等 の対策 ② 足場その他 ③ 総合仮設計画 4 監督員用事務所等 ⑤ 工用水 ⑥ 工用電力 ⑦ 仮設建物等	防音パネル ・防音シート ・養生シート (2.2.1) 防音パネルの設置範囲と高さ 設置範囲： 高さ： (2.2.2) 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 現場作業の安全確保、及び第三者災害の防止を目的として総合仮設計画を作成し、監督員の承諾を受ける。 ・監督員事務所 ・10 ・20 ・35 ・65 ・ m ² 程度を設ける。(2.3.1) ・仮設事務所の中に監督員用空間を m ² 程度確保する。 ・監督員が使用できる備品として、下記のもの工事期間中現場に用意し、貸与する。 ・保護帽 ケ 雨具 着 ・長靴 足 ・安全带 組 構内既存の施設 利用できない ・利用できる(有償 ・無償) 構内既存の施設 利用できない ・利用できる(有償 ・無償) 現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。																																																							
3	解体施工	①事前措置 ②機器等の解体 ③基礎及び杭	浄化槽・排水槽等の汚水・汚物等を処理し、洗浄、消毒等を行う。(3.2.1) オイルタンク、オイルサービスタンク及び配管内の廃油を処理し、洗浄等を行う。 工事範囲内の機器類は、各種別ごとに分別解体する。(3.4.1) 設備機器等は専門業者又はメーカーが解体し、バッテリー液・フロンガス等は関係法令に基づき適正に処分する。 杭の撤去 行う ・残置 (3.9.2) 残置または一部撤去の場合の処理 杭種、杭径、位置、杭頂部高さ等の記録を整備し、監督員に提出する。 解体方法 引抜き ・破砕 ・杭頭はつり(mまで) 引き抜いた杭の処理 杭撤去跡の処理 ・山砂 ・流動化処理土 ・セメントミルク 杭の種類 ・遠心力鉄筋コンクリートくい ・高強度プレストレスコンクリートくい ・場所打ちコンクリートくい ・木くい ・RCパイプ <table border="1"> <thead> <tr> <th>建物名等</th> <th>杭径</th> <th>長さ</th> <th>本数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	建物名等	杭径	長さ	本数	備考																																																		
建物名等	杭径	長さ	本数	備考																																																						
4	付属物の解体	④ さく、照明設備等の付属物	付属物の解体 ・行わない ○行う(・ ○図示) (3.10.1)																																																							
5	構内舗装等	⑤ 樹木の伐採・伐根	樹木の伐採・伐根 ・行わない ○行う(・ ○図示) (3.11.1) 支障となる樹木の移植 ○行わない ・行う(・ 図示)																																																							
6	地下埋設物及び埋設配管	⑥ 地下埋設物及び埋設配管	撤去する地下埋設物、埋設配管 ○あり(○図示 ・) ・なし (3.12.1)																																																							
7	解体後の整地	⑦ 埋戻し及び盛土	埋戻し及び盛土 ○A種 B種 ・C種 ・D種 (標仕3.2.3)(標仕表3.2.1) 発生土の処理 ○構内指示の場所(○敷均し ・堆積) (標仕3.2.5) ・構外搬出適切処理(指定場所： ・処分地未特定のため、場内置き置きし契約後変更とする																																																							
8	火気使用作業等	⑧ 解体工事時にガスバーナーでオイルタンクやアスファルト防水層の近くを切断する時、爆発や火災発生	解体工事時にガスバーナーでオイルタンクやアスファルト防水層の近くを切断する時、爆発や火災発生																																																							

4	① 再資源化等	中間処理、再資源化施設 「追加特記6 建設廃棄物の処理」による。(4.4.1) 再資源化する建設廃棄物 建設リサイクル法による特定建設資材廃棄物 金属類 資源有効利用促進法に基づく指定再資源化製品 資源有効利用促進法に基づく指定再利用促進製品 ・廃棄物処理法に基づく水銀使用製品産業廃棄物 ・硬質ポリ塩化ビニル管及び継手 ・ガラス 指定建設資材廃棄物としての木材の縮減(焼却) 不可 ・可 再資源化して現場で利用する建設廃棄物																																								
5	① 廃石綿等 ② PCB含有機器類 ③ PCB含有シーリング材	6 石綿含有建材の除去及び処理による。(5.4.1(1)) 調査方法 製造所、製造年、型式等による調査 (5.4.1(2)) ・専門分析機関による微量PCB分析調査 調査対象 上記のほかにも含有が疑われる機器があった場合は調査を行う。 事前調査等 ・行う(下記の要領で分析する) ○行わない (5.4.1(3)) 現場においてケトルを採集し、専門分析機関で分析を行う。 採取箇所 外壁目地 ・建具周囲目地 ・図示 採取箇所数 ・部材が異なる毎に1箇所 ・図示 分析によりPCBの含有が確認された場合は、下記により施工調査等を行い、適切に処理を行う。 調査範囲 工事範囲全て ・図示 調査内容 シーリング 使用部位及び長さの確認 施工範囲と工事施工区分の確認 仮設計画 廃棄物等の搬出方法 4 廃油 処理方法 ・焼却処分 ○中間処理施設による再生処理 (5.4.1(4)) 5 廃酸・廃アルカリ 処理方法 ・中和処理 ・焼却処分 (5.4.1(5)) ・中間処理施設による再生処理 6 ダイオキシソ類 サンプリング調査 ・行う ・行わない (5.4.1(6)) <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th> <th>調査箇所</th> <th>測定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> 焼却施設の解体及び処分方法 ダイオキシソ類対策特別措置法施行令(平成11年政令第433号)その他関係法令に従い、適切に処理すること。	材料名	調査箇所	測定方法																																					
材料名	調査箇所	測定方法																																								
6	① 共通 ② 石綿粉じん濃度測定	建築物の解体等工事、石綿除去について、以下の基準を適用する。 ・建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等にはばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する技術上の指針(令和6年1月31日付け 技術上の指公示第25号) ・新石綿技術指針対応版 石綿粉じんへのばく露防止マニュアル(建設業労働災害防止協会) ・建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏れ防止対策徹底マニュアル(令和6年2月(厚生労働省、環境省)) 石綿粉じん濃度測定 ○行う ・行わない [6.1.3] 測定時期、場所及び測定点 <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定箇所数 (各処理作業ごと)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>・()点</td> </tr> <tr> <td>○測定2</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>○4方向各1点</td> <td>・()点</td> </tr> <tr> <td>・測定3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>・()点</td> </tr> <tr> <td>・測定4</td> <td>セキヤリダダツ入口</td> <td>・()点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・測定5</td> <td>集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)</td> <td>・出口吹出し風量 1m/s以下の位置各1点</td> <td>・()点</td> </tr> <tr> <td>○測定6</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>○4方向各1点</td> <td>・()点</td> </tr> <tr> <td>・測定7</td> <td>処理作業後</td> <td>処理作業室内</td> <td>・()点</td> </tr> <tr> <td>○測定8</td> <td>(隔離シート撤去前)</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>○4方向各1点</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・()点</td> </tr> </tbody> </table>	適用測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各処理作業ごと)	・測定1	処理作業前	処理作業室内	・()点	○測定2	施工区画周辺又は敷地境界	○4方向各1点	・()点	・測定3	処理作業中	処理作業室内	・()点	・測定4	セキヤリダダツ入口	・()点		・測定5	集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)	・出口吹出し風量 1m/s以下の位置各1点	・()点	○測定6	施工区画周辺又は敷地境界	○4方向各1点	・()点	・測定7	処理作業後	処理作業室内	・()点	○測定8	(隔離シート撤去前)	施工区画周辺又は敷地境界	○4方向各1点				・()点
適用測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各処理作業ごと)																																							
・測定1	処理作業前	処理作業室内	・()点																																							
○測定2	施工区画周辺又は敷地境界	○4方向各1点	・()点																																							
・測定3	処理作業中	処理作業室内	・()点																																							
・測定4	セキヤリダダツ入口	・()点																																								
・測定5	集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)	・出口吹出し風量 1m/s以下の位置各1点	・()点																																							
○測定6	施工区画周辺又は敷地境界	○4方向各1点	・()点																																							
・測定7	処理作業後	処理作業室内	・()点																																							
○測定8	(隔離シート撤去前)	施工区画周辺又は敷地境界	○4方向各1点																																							
			・()点																																							

番号に ○印を付けたものを適用する。

設計概要

工 事	工 事 名 称	釜無川レクリエーションセンター 解体工事			建 物	主 要 用 途	公衆浴場
	工 事 種 別	新築・増築・別棟増築・改築・改修(大規模の修繕)・用途変更(大規模の模様替)・解体・移設・移転				構 造	RC造
敷 地	建 築 場 所	山梨県甲斐市西八幡字上川除付4268-6の一部、4259-11の一部			面 積	階 数	2階建て(地下機械室・PH階除く)
	敷 地 面 積	2,953.17㎡				基 礎	地盤支持(ベタ・布・独立) 枕支持(RC杭・PC杭・ <u>アップリコ</u>)
	用 途 地 域	無指定				建 築 面 積	既存改修部分(RC造):550.86㎡、増築部分(RC造):157.94㎡、増築部分(木造):22.89㎡
	防 火 地 域	無指定(法22条区域内)				延 床 面 積	既存改修部分(RC造):1066.26㎡、増築部分(RC造):185.95㎡、増築部分(木造):22.89㎡
	地 域 地 区	都市計画区域内(市街化区域・市街化調整区域・区域区分非設定)・都市計画区域外・特別工業地区・特別用途地区・美観地区 風致地区(第 種)・高度地区(第 種)・ <u>地造成等工事規制区域</u> ・特定盛土等規制区域(河川敷)・その他()					

外部仕上表

基 礎	・既存部分:コンクリート下地浸透性防水塗(シラン系) ・増築部分:コンクリート下地防水モルタル金ゴテ押え	ポ ー チ	・床:コンクリート、モルタル下地、100角磁器質無釉タイル ・天 井:軽天下地、アルミスバンドレル貼(AS101アサヒ金属同等品)
屋 根	・シート防水 t=1.5飛火試験合格品 J I S - A - 1 3 1 2 ・露天風呂屋根:カラーガルバリウム鋼板 t=0.4、アスファルトルーフィング22Kg、桧(上小節)化粧野地板 t=18、勾配3/10 3寸ムクリ ・ドライエリア部分:ルーフデッキ t=0.6、(ガルバリウム鋼板)不燃エース裏貼 30分耐火仕様	建 具	・アルミサッシ:ブラウン見込70mm ・スチール:見込100mm
軒 天	・露天風呂:桧(上小節)化粧野地板 t=18防水塗料塗り ・増築部分:コンクリート打放補修下地アクリルリシン吹付 ・既存部分:コンクリート打放補修下地アクリルリシン吹付(一部ケイカル板下地)	浴場下部ビット	・内部床・壁共:塗布防水(ケイ酸質系塗布防水剤)(パンデックス防水S+P工法 日本パンテックス同等品) ・外部壁:塗膜防水(ポリマーセメント系)(パンデックス防水BB75E工法 日本パンテックス同等品) ・天井:スタイロフォーム厚25
外 壁	・コンクリート打放補修下地アクリルリシン吹付 ・コンクリート打放補修下地エルドラストーン マウンテンストーン貼(ABC商会同等品)	ドライエリア	・内部床・壁共:塗布防水(ケイ酸質系塗布防水剤)(パンデックス防水S+P工法 日本パンテックス同等品) ・外部壁:塗膜防水(ポリマーセメント系)(パンデックス防水BB75E工法 日本パンテックス同等品)
スカイテラス	・床:アスファルト防水(A-1工法)、シンダーコンクリート t=100、磁器質無釉タイル100角(INAXピアッツァOXシリーズ) ・手摺:アルミ製100*55 Uタイプ ホワイト塗装(ミカミ工業同等品) ・支柱:アルミ製70角加工@900内外 ホワイト塗装 支持柱70角用(ミカミ工業同等品) ・笠木:防水モルタル金ゴテ押え	その他	・天井裏換気口:アルミ丸型フードガラリ 100防虫網付(一部FD付)
種	・タテ樋:塩ビ製雨樋 100(掃除口付)VP ・タテ引き鋳鉄製ルーフトレイン、横引き鋳鉄製ルーフトレイン 100用	バルコニー	・南側床:シート防水下地 t=1.5下地100角磁器質無釉タイル(INAXピアッツァOXシリーズ) ・東側床:シート防水下地 t=1.5 ・手摺:アルミ製100*55 Uタイプ ホワイト塗装(ミカミ工業同等品) ・支柱:アルミ製70角加工@900内外 ホワイト塗装 支持柱70角用(ミカミ工業同等品) ・笠木:防水モルタル金ゴテ押え

内部仕上表

階	室 名	C H	床	巾 木	壁	天 井	廻り縁	備 考	備 品	
1	玄関ホール	2,700 2,850	モルタル下地、100角磁器質無釉タイル モルタル下地、タイルカーペット500*500貼 t=6.5	大磯洗い出し H=150 ビーク巾木CL H=100	せつ器質タイル240*60	ロックウール吸音板300*300*12 EP	塩ビ製	上り框:御影石 スチール製下足入		
	ロビー リフトホール 廊下 タミナス	2,700	モルタル下地、タイルカーペット500*500貼 t=6.5 木床組コンパネ t=12下地、タタミ敷込900*900一部加工 カマチ:タモ集成材90*100ウレタン塗装	ビーク巾木CL H=100	P B t = 12.5下地、ソフトタイプ吹付(軽量間仕切) P B t = 12.5下地、ソフトタイプ吹付(G L 工)	P B t = 9.5下地、ソフトタイプ吹付(軽天下地)	塩ビ製	カウンター、テレビ台 飾り棚、館内案内板 天井点検口 防煙垂れ壁H=500 (<u>ステーク</u> XT 日本板が 同等品)		
	事務室	2,700	モルタル下地、タイルカーペット500*500貼 t=6.5	スブルースCL H=100	P B t = 12.5下地、ソフトタイプ吹付(軽量間仕切) P B t = 12.5下地、ソフトタイプ吹付(G L 工)	P B t = 9.5下地、ビニールクロス貼(軽天下地)	塩ビ製	室名札、天井点検口 木製ブラインド		
	休憩室・更衣室	2,400	木床組コンパネ t=12下地、タタミ敷	タタミ寄せ	ラスボード下地、京ジュラク塗り	和風 P B t = 9.0(軽天下地)	木製			
	湯沸室1	2,500	モルタル下地、長尺塩ビシート t=2.0貼(マジェスタ タジマ同等品)	ソフト巾木 H=100	ソフト巾木 H=100	P B t = 12.5下地、ソフトタイプ吹付(軽量間仕切) 流し台前: C B t=100下地、半磁器質タイル貼100角 H=1100	P B t = 9.5下地、ソフトタイプ吹付(軽天下地)	塩ビ製	流し台W1800 天井点検口 洗濯機パン	洗濯機
	男子洗面	2,500	モルタル下地、長尺塩ビシート t=2.0貼(マジェスタ タジマ同等品)	ソフト巾木 H=100	ソフト巾木 H=100	シーリングボード t=12.5下地、ソフトタイプ吹付(G L 工法) シーリングボード t=12.5下地、ソフトタイプ吹付(軽量間仕切)	P B t = 9.5目スカシ貼下地 V E 塗り(軽天下地)	塩ビ製	マーブライトカウンター 化粧鏡YH401 膳板:御影石(磨き) 室名札	

承認	設計	担当	縮尺
設計年月日			20260224

釜無川レクリエーションセンター解体工事

設計概要・外部仕上表・内部仕上表 1

A -01

NO .

外部仕上表

階	室名	CH	床	巾木	壁	天井	廻り縁	備考	備品
1	女子洗面	2,500	モルタル下地、長尺塩ビシートt=2.0貼(マジエスタ タジマ同等品)	ソフト巾木 H=100	シーリングボード t = 12.5下地、ソフトタイプ吹付(G L 工法) シーリングボード t = 12.5下地、ソフトタイプ吹付(軽量間仕切)	P B t = 9.5目スカシ貼下地 V E 塗り(軽天下地)	塩ビ製	マーブライトカウンター 化粧鏡YH401 膳板:御影石(磨き) 室名札	
	男子便所	2,500	モルタル下地、長尺塩ビシートt=2.0貼(マジエスタ タジマ同等品) 小便器前:御影石900*600t=20(アーストーンステップ I N A X 同等品)	ソフト巾木 H=100	シーリングボード t = 12.5下地、ソフトタイプ吹付(G L 工法) シーリングボード t = 12.5下地、ソフトタイプ吹付(軽量間仕切)	P B t = 9.5目スカシ貼下地 V E 塗り(軽天下地)	塩ビ製	膳板:御影石(磨き) 手摺:L型T113BL1S 天井点検口、室名札	
	女子便所	2,500	モルタル下地、長尺塩ビシートt=2.0貼(マジエスタ タジマ同等品)	ソフト巾木 H=100	シーリングボード t = 12.5下地、ソフトタイプ吹付(G L 工法) シーリングボード t = 12.5下地、ソフトタイプ吹付(軽量間仕切)	P B t = 9.5目スカシ貼下地 V E 塗り(軽天下地)	塩ビ製	膳板:御影石(磨き) 手摺:L型T113BL1S 天井点検口、室名札	
	多目的便所	2,500	モルタル下地、長尺塩ビシートt=2.0貼(マジエスタ タジマ同等品)	ソフト巾木 H=100	シーリングボード t = 12.5下地、ソフトタイプ吹付(G L 工法) シーリングボード t = 12.5下地、ソフトタイプ吹付(軽量間仕切)	P B t = 9.5目スカシ貼下地 V E 塗り(軽天下地)	塩ビ製	手摺:L型T113BL1S 手摺:可動式手摺T113BH5S 室名札、天井点検口	
	湯沸室2	2,500	モルタル下地、長尺塩ビシートt=2.0貼(マジエスタ タジマ同等品)	ソフト巾木 H=100	P B t = 12.5下地、ソフトタイプ吹付(G L 工法) P B t = 12.5下地、ソフトタイプ吹付(軽量間仕切) キッチン廻り:シーリングボード t = 12.5下地、'ワザイ'吹付(G L 工法)	P B t = 9.5目スカシ貼下地 V E 塗り(軽天下地)	塩ビ製	ミニキッチンW1200 室名札 膳板:タモ集成材	
	男子脱衣室 (便所)	2,600	木床組コンパネ t = 12下地、長尺塩ビシートt=2.0貼 (マジエスタ タジマ同等品) 踏込:木床組コンパネ t = 12下地、タイルカーペット500*500貼t=6.5 (タビセレクト タジマ同等品)	ソフト巾木 H=100	シーリングボード t = 12.5下地、ソフトタイプ吹付(G L 工法) シーリングボード t = 12.5下地、ソフトタイプ吹付(軽量間仕切)	シーリングボード t = 9.5下地、ソフトタイプ吹付(軽天下地)	塩ビ製	マーブライトカウンター 膳板:タモ集成材 室名札、天井点検口 I型手摺	脱衣ロッカー、貴重品ロッカー
	女子脱衣室 (便所)	2,600	木床組コンパネ t = 12下地、長尺塩ビシートt=2.0貼 (マジエスタ タジマ同等品) 踏込:木床組コンパネ t = 12下地、タイルカーペット500*500貼t=6.5 (タビセレクト タジマ同等品)	ソフト巾木 H=100	シーリングボード t = 12.5下地、ソフトタイプ吹付(G L 工法) シーリングボード t = 12.5下地、ソフトタイプ吹付(軽量間仕切)	シーリングボード t = 9.5下地、ソフトタイプ吹付(軽天下地)	塩ビ製	マーブライトカウンター 膳板:タモ集成材 室名札、天井点検口 I型手摺	脱衣ロッカー、貴重品ロッカー
	男子浴場	2,650 ~ 2,750	アスファルト防水(E-2工法)シンダーコンクリート(浴槽内立上り共) 洗い場:せっき器質300角タイル貼(タゴット I N A X 同等品) 浴槽内:磁器質50角タイル貼 (ブレイン50ミスティーシリーズ I N A X 同等品)	同 右	アスファルト防水(E-2工法) 磁器質50*100タイル貼(インテグレート2002Sピアンタ I N A X 同等品) 柱型:磁器質タイル貼(エターナボーダー I N A X 同等品)	アルミスバンドレル貼(AS-101アサヒ同等品)(軽天下地)	アルミ製	サウナ、持物置棚、天井点検口 立上膳板・仕切壁:御影石 ベンチ:ラウド'チップ' EX-13370 ステンレスグレーチング	
	女子浴場	3,000 ~ 3,100	アスファルト防水(E-2工法)シンダーコンクリート(浴槽内立上り共) 洗い場:せっき器質300角タイル貼(タゴット I N A X 同等品) 浴槽内:磁器質50角タイル貼 (ブレイン50ミスティーシリーズ I N A X 同等品)	同 右	アスファルト防水(E-2工法) 磁器質50*100タイル貼(インテグレート2002Sピアンタ I N A X 同等品)	アルミスバンドレル貼(AS-101アサヒ同等品)(軽天下地)	アルミ製	サウナ、持物置棚、天井点検口 立上膳板・仕切壁:御影石 ベンチ:ラウド'チップ' EX-13370 ステンレスグレーチング	
	男女露天風呂		アスファルト防水(E-2工法)シンダーコンクリート(浴槽内立上り共) 洗い場:美濃石乱張り 浴槽内:御影石ジェットパーナー仕上(立上り共)		化粧柱:檜(上小節)防水塗料塗り	檜(上小節)化粧野地板t=18 防水塗料塗り			
	男女サウナ	2,300	スノコ板(スプルス)	同 右	タイル張り(ネオエックス) 腰板:スプルス	岩綿吸音板t=9		ヒーター 囲い壁	
裏 口	2,800	シンダーコンクリート下地、150角磁器質無釉タイル (I N A X ピアツア O X シリーズ) カマチ:御影石110*90面取り		P B t = 12.5下地、ソフトタイプ吹付(G L 工法) P B t = 12.5下地、ソフトタイプ吹付(軽量間仕切)	P B t = 9.5下地、ソフトタイプ吹付(軽天下地)	塩ビ製			
倉 庫		土間コンクリート金ゴテ		コンクリート打放補修 P B t = 12.5 V E 塗り(軽量間仕切)	コンクリート打放補修				

承認	設計	担当	縮尺
設計年月日			20260224

釜無川レクリエーションセンター解体工事

内部仕上表 2

A -02

NO .

外部仕上表

階	室名	CH	床	巾木	壁	天井	廻り縁	備考	備品
2	ホール通路	2,700	モルタル下地、タイルカーペット500*500貼 t = 6.5	ビーク巾木CL H=100	P B t = 12.5下地、ソフトタイプ吹付 (G L 工法) P B t = 12.5下地、ソフトタイプ吹付 (軽量間仕切)	P B t = 9.5下地、ソフトタイプ吹付 (軽天下地)	塩ビ製	天井点検口	
	軽食コーナー	2,700	モルタル下地、タイルカーペット500*500貼 t = 6.5	ソフト巾木 H=100	P B t = 12.5下地、ソフトタイプ吹付 (G L 工法) P B t = 12.5下地、ソフトタイプ吹付 (軽量間仕切)	P B t = 9.5下地、ソフトタイプ吹付 (軽天下地)	塩ビ製	室名札、天井点検口	
	物置		コンクリート素地のまま	同 左	コンクリート素地のまま P B t = 12.5素地のまま (軽量間仕切)	コンクリート素地のまま			
	男子便所	2,400	モルタル下地、長尺塩ビシート t=2.0貼 (マジェスタ タジマ同等品) 小便器前：御影石900*600 t=20 (アーストーンステップ I N A X 同等品)	ソフト巾木 H=100	シーリングボード t = 12.5下地、ソフトタイプ吹付 (G L 工法) シーリングボード t = 12.5下地、ソフトタイプ吹付 (軽量間仕切)	P B t = 9.5目スカシ貼下地 V E 塗り (軽天下地)	塩ビ製	膳板：御影石 (磨き) 手摺：L型T113BL1S 天井点検口、室名札	
	女子便所	2,400	モルタル下地、長尺塩ビシート t=2.0貼 (マジェスタ タジマ同等品)	ソフト巾木 H=100	シーリングボード t = 12.5下地、ソフトタイプ吹付 (G L 工法) シーリングボード t = 12.5下地、ソフトタイプ吹付 (軽量間仕切)	P B t = 9.5目スカシ貼下地 V E 塗り (軽天下地)	塩ビ製	膳板：御影石 (磨き) 手摺：L型T113BL1S 天井点検口、室名札	
	湯沸室	2,400	モルタル下地、長尺塩ビシート t=2.0貼	ソフト巾木 H=100	P B t = 12.5下地、ソフトタイプ吹付 (G L 工法) P B t = 12.5下地、ソフトタイプ吹付 (軽量間仕切) キッチン廻り：シーリングボード t = 12.5下地、ソフトタイプ吹付 (G L 工法)	P B t = 9.5目スカシ貼下地 V E 塗り (軽天下地)	塩ビ製	ミニキッチンW1500 室名札 膳板：タモ集成材	
	大広間	2,800 ~ 4,000	木床組コンパネ t = 12下地、タタミ敷込	タタミ寄せ	P B t = 12.5下地、ビニールクロス貼 (軽量間仕切)	P B t = 9.5下地、ビニールクロス貼 (軽天下地)	木製		
共通	ホール階段		タイルカーペット500*500貼 t = 6.5	ビーク巾木CL H=100	腰壁：ビーク巾木板 t=15CL H=900 P B t = 12.5 EP吹付	P B t = 9.5下地、EP吹付 (軽天下地)	塩ビ製	アルミノンスリップW=38 笠木：御影石40*160、40*210 手摺：積層材50*30平型グリップ式	
	通路階段		フロアリューム貼	ソフト巾木 H=100	コンクリート打放補修、ソフトタイプ吹付	コンクリート打放補修、ソフトタイプ吹付 P B t = 9.5下地、EP吹付 (軽天下地)		アルミノンスリップW=38 笠木：御影石40*160、40*210 手摺：アルミ製グリップ式	

承認	設計	担当	縮尺
			設計年月日
			20260224

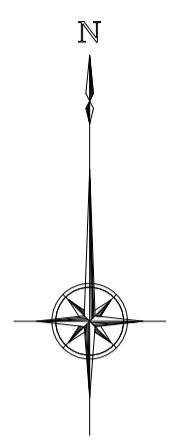
釜無川レクリエーションセンター解体工事

内部仕上表 3

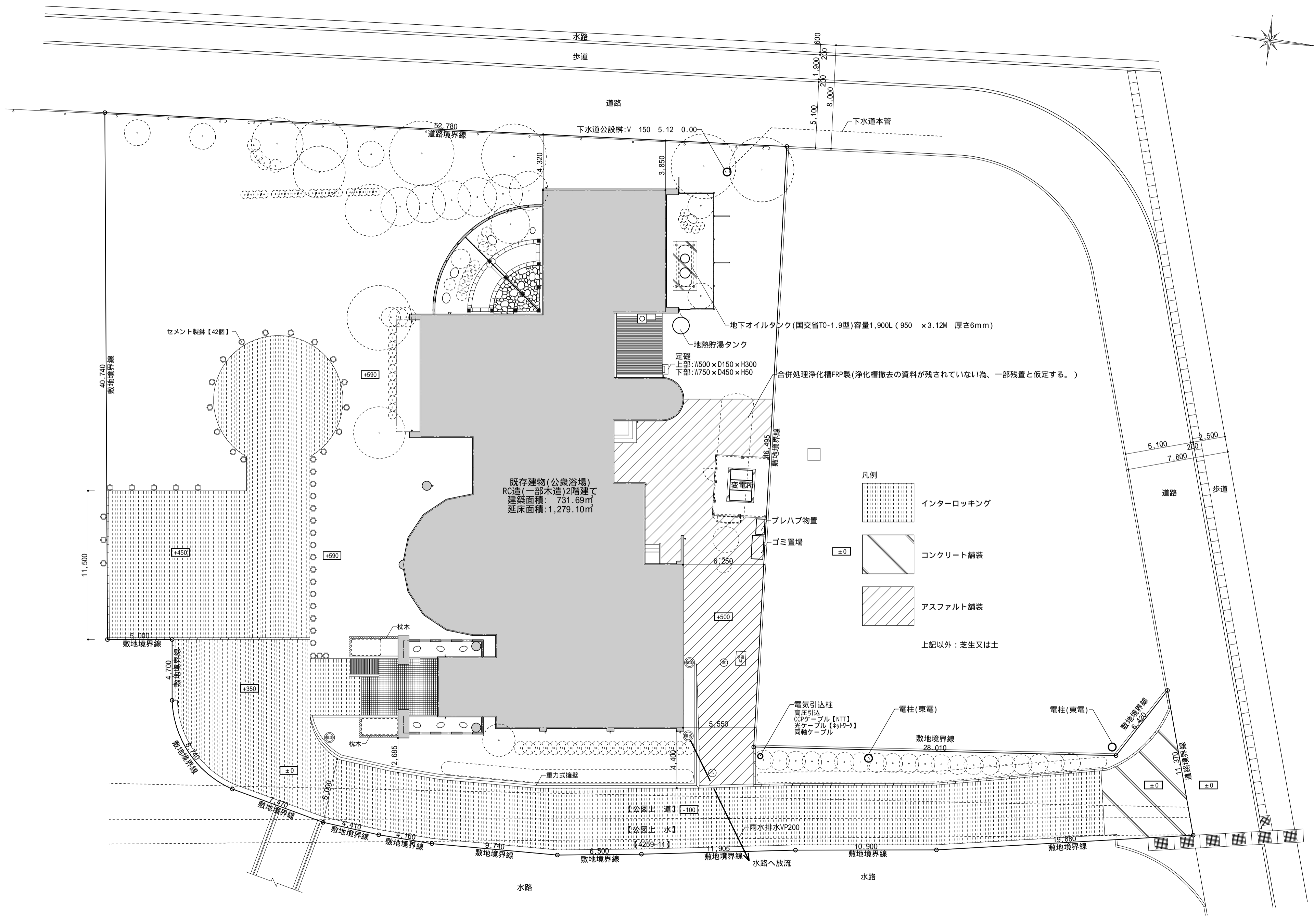
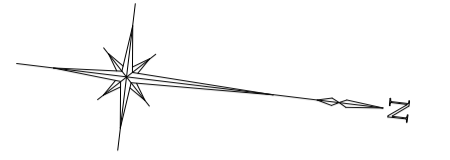
A -03

NO .

計画地：山梨県甲斐市西八幡字上川除付4268-6の一部、4259-11の一部



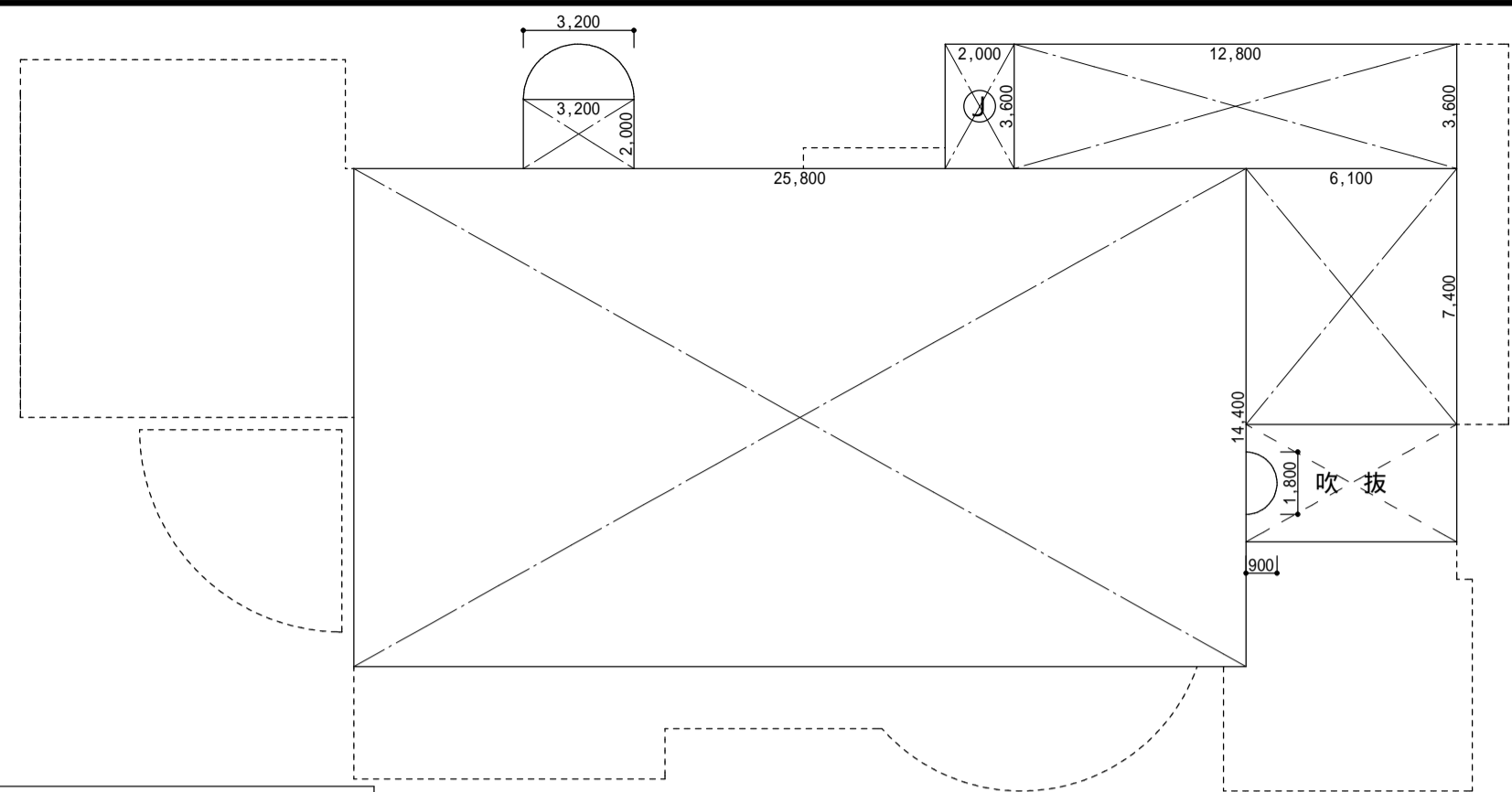
	承認	設計	担当	縮尺	釜無川レクリエーションセンター解体工事	A -04
				約 1/4000		
				設計年月日	案内図	NO.
				20260224		



既存建物(公衆浴場)
RC造(一部木造)2階建て
建築面積: 731.69㎡
延床面積: 1,279.10㎡

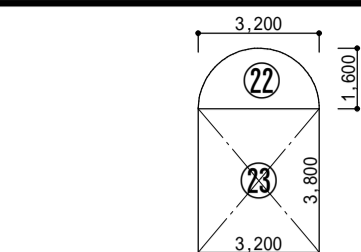
- 凡例
- インターロッキング
 - コンクリート舗装
 - アスファルト舗装
 - 上記以外: 芝生又は土

承認	設計	担当	縮尺	釜無川レクリエーションセンター解体工事	A -05
			1/200		
			設計年月日	現況配置図	NO.
			20260224		



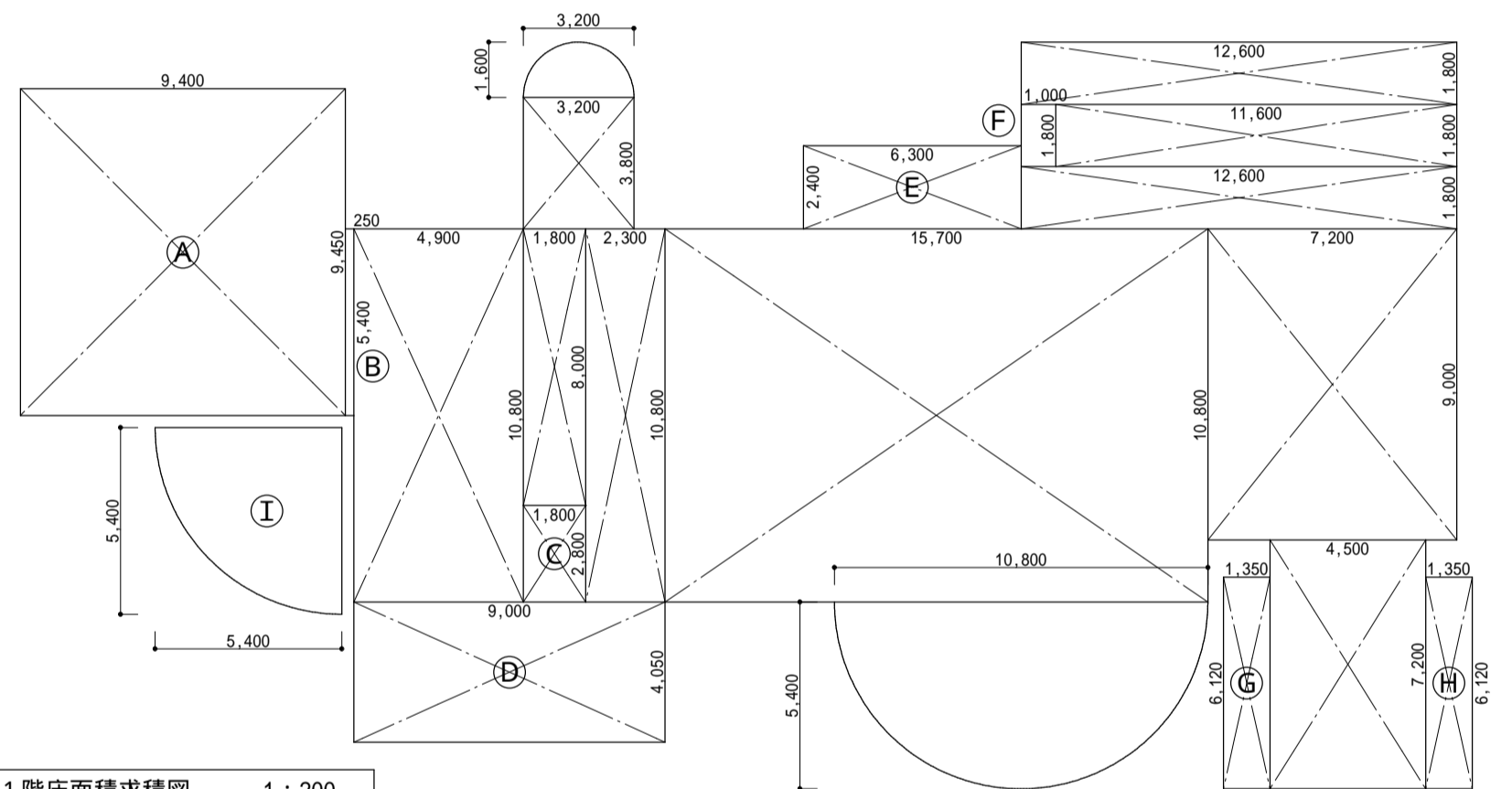
2階床面積求積図 1:200

2階床面積求積表		
記号	計算式	計
	14.400×25.800	371.520000
	3.600×12.800	46.080000
	7.400×6.100	45.140000
	$1.600 \times 1.600 \times 3.14 \times 1/2$	4.019200
	2.000×3.200	6.400000
	$0.900 \times 0.900 \times 3.14 \times 1/2$	1.271700
㉑	3.600×2.000	7.200000



PH階床面積求積図 1:200

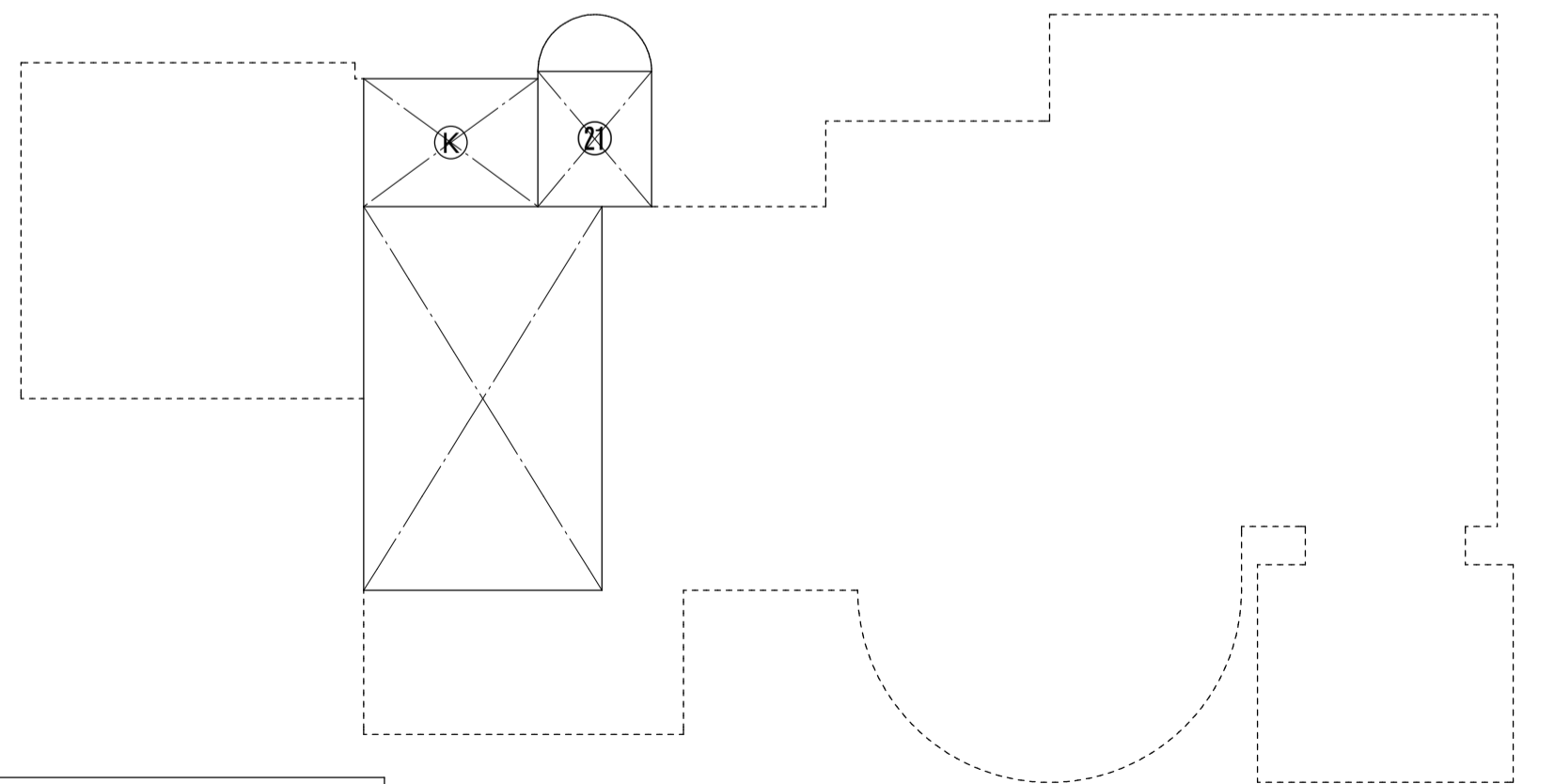
PH階床面積求積表		
記号	計算式	計
㉒	$1.600 \times 1.600 \times 3.14 \times 1/2$	4.019200
㉓	3.800×3.200	12.160000



1階床面積求積図 1:200

1階床面積求積表		
記号	計算式	計
	10.800×4.900	52.920000
	8.000×1.800	14.400000
	10.800×2.300	24.840000
	10.800×15.700	169.560000
	$5.400 \times 5.400 \times 3.14 \times 1/2$	45.781200
	1.800×12.600	22.680000
	1.800×11.600	20.880000
	1.800×12.600	22.680000
	9.000×7.200	64.800000
	7.200×4.500	32.400000
	$1.600 \times 1.600 \times 3.14 \times 1/2$	4.019200
	3.800×3.200	12.160000
㉑	9.450×9.400	88.830000
㉒	5.400×0.250	1.350000
㉓	2.800×1.800	5.040000
㉔	4.050×9.000	36.450000
㉕	2.400×6.300	15.120000
㉖	1.800×1.000	1.800000
㉗	6.120×1.350	8.262000
㉘	6.120×1.350	8.262000
○	$5.400 \times 5.400 \times 3.14 \times 1/4$	22.890600

地階床面積求積表		
記号	計算式	計
	10.800×6.700	72.360000
	$1.600 \times 1.600 \times 3.14 \times 1/2$	4.019200
㉑	3.800×3.200	12.160000
㉒	3.600×4.900	17.640000



地階床面積求積図 1:200

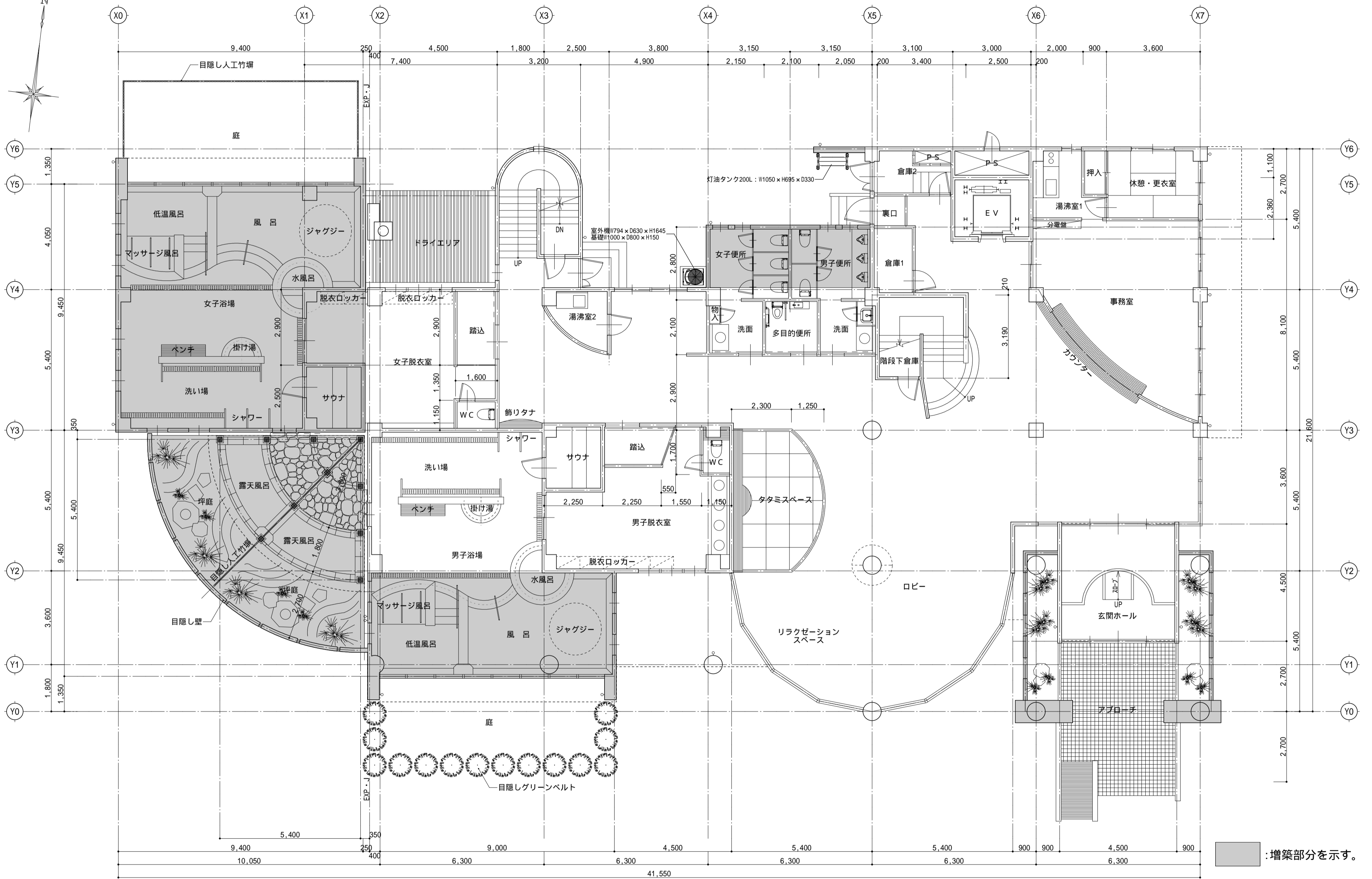
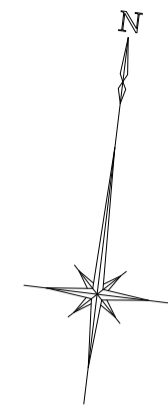
PH階床面積		
既存改修部分	㉒ ~ ㉓	16.18
合計		16.18 m ²

2階床面積		
既存改修部分	~	474.43
増築部分(RC造)	㉑	7.20
合計		481.63 m ²

1階床面積		
既存改修部分	~	487.12
増築部分(RC造)	㉑ ~ ㉒	165.11
増築部分(木造)	○	22.89
合計		675.12 m ²

地階床面積		
既存改修部分	~ ㉑	88.53
増築部分(RC造)	㉒	17.64
合計		106.17 m ²

床面積				
	既存改修部分(RC造)	増築部分(RC造)	増築部分(木造)	合計
建築面積	550.86 m ²	157.94 m ²	22.89 m ²	731.69 m ²
地階床面積	88.53 m ²	17.64 m ²		106.17 m ²
1階床面積	487.12 m ²	165.11 m ²	22.89 m ²	675.12 m ²
2階床面積	474.43 m ²	7.20 m ²		481.63 m ²
PH階床面積	16.18 m ²			16.18 m ²
合計	1,066.26 m ²	189.95 m ²	22.89 m ²	1,279.10 m ²

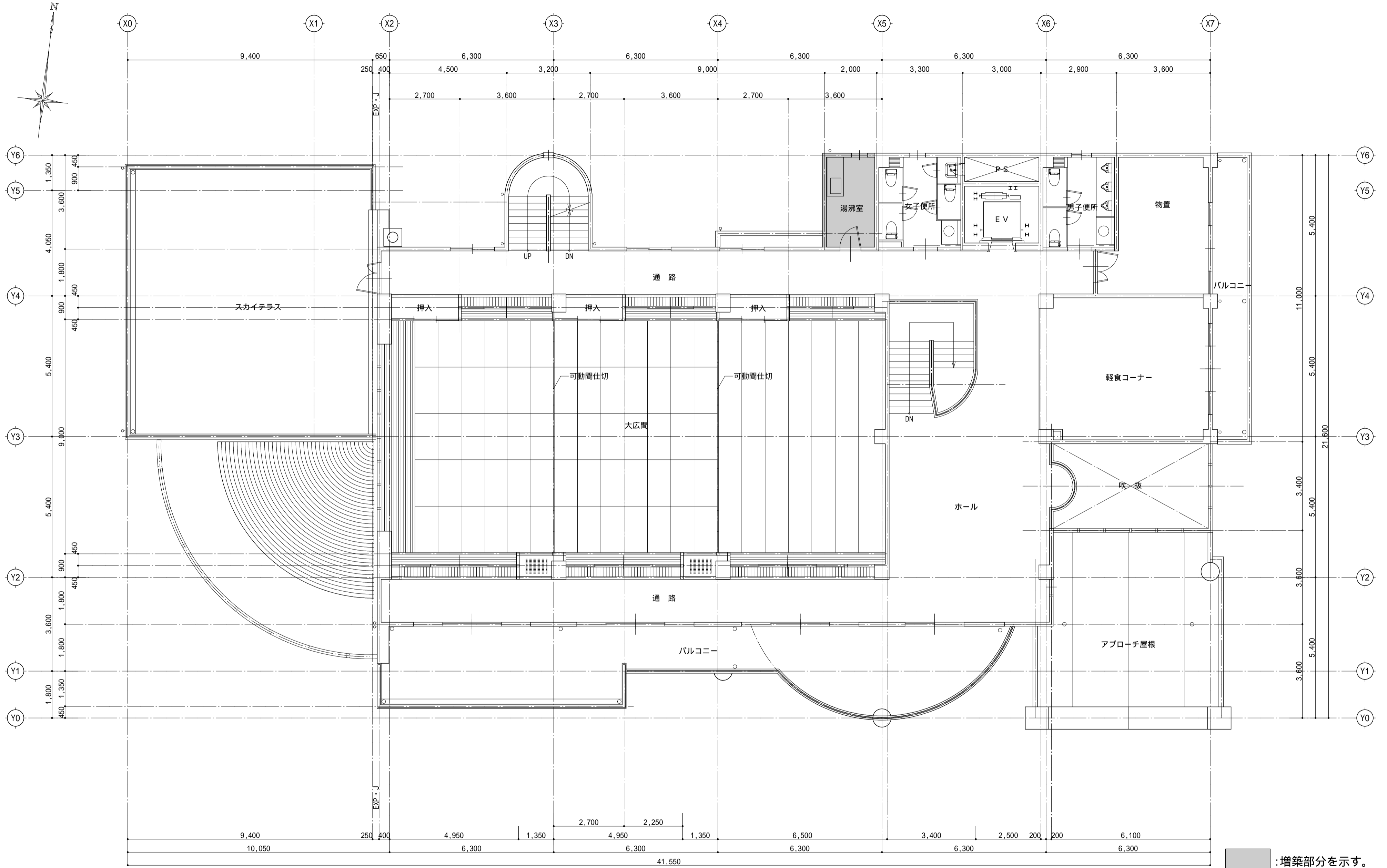


■ : 増築部分を示す。

承認	設計	担当	縮尺
			1/100
設計年月日			20260224

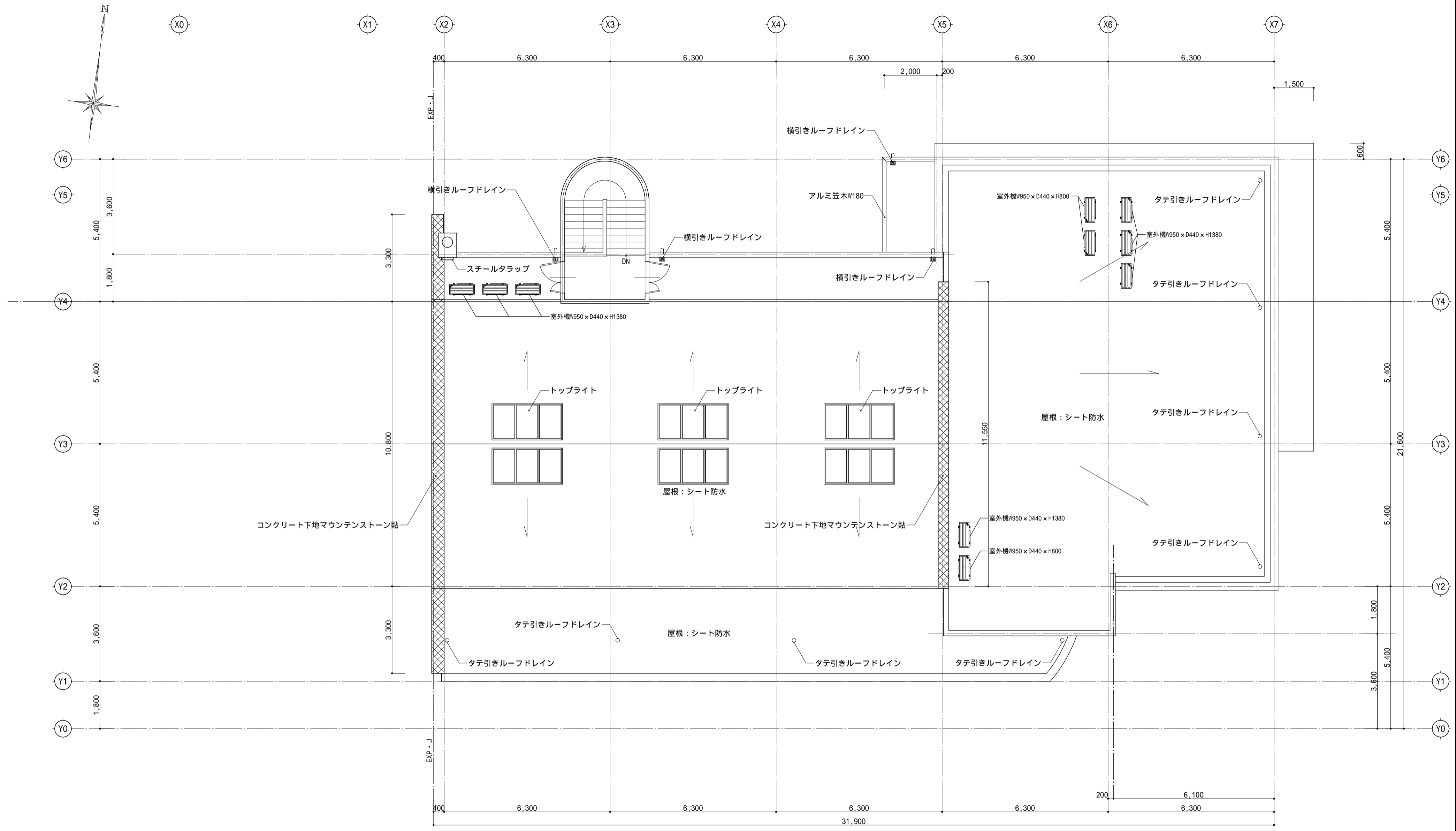
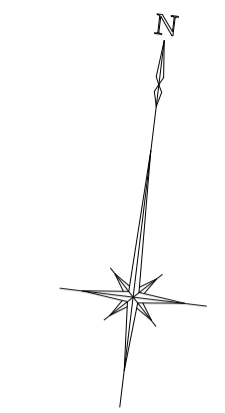
釜無川レクリエーションセンター解体工事
 既存建物 1階平面図

A -07
 NO.

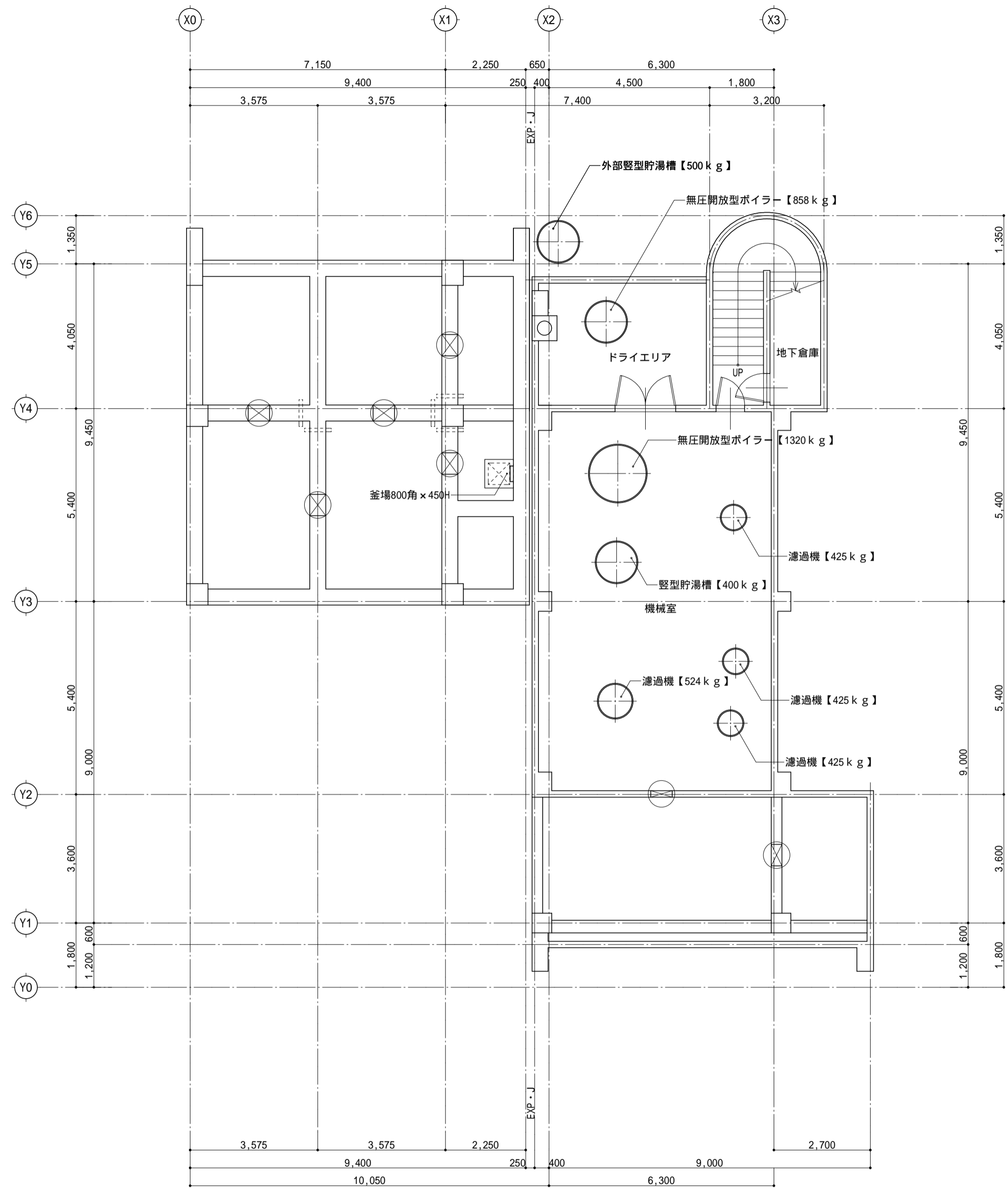


■ : 増築部分を示す。

承認	設計	担当	縮尺	釜無川レクリエーションセンター解体工事	A -08
			1/100		
			設計年月日		NO.
			20260224		

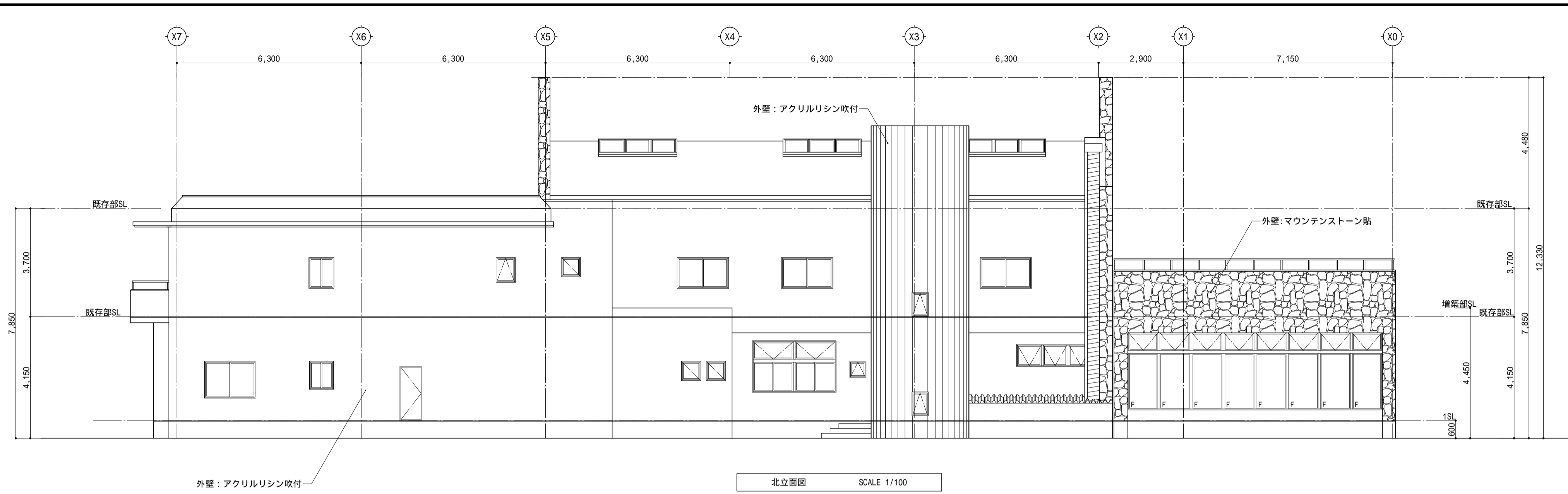


	承認	設計	担当	縮尺	1/100	釜無川レクリエーションセンター解体工事	A -09
					設計年月日		



- ... 人通り口 600 x 600 7箇所
- ... 連通管 100 (下部) 5箇所
- ... 連通管 50 (上部) 5箇所
- ... 床点検口 600 x 600製
- スチールスラップ 22 L=400 3本

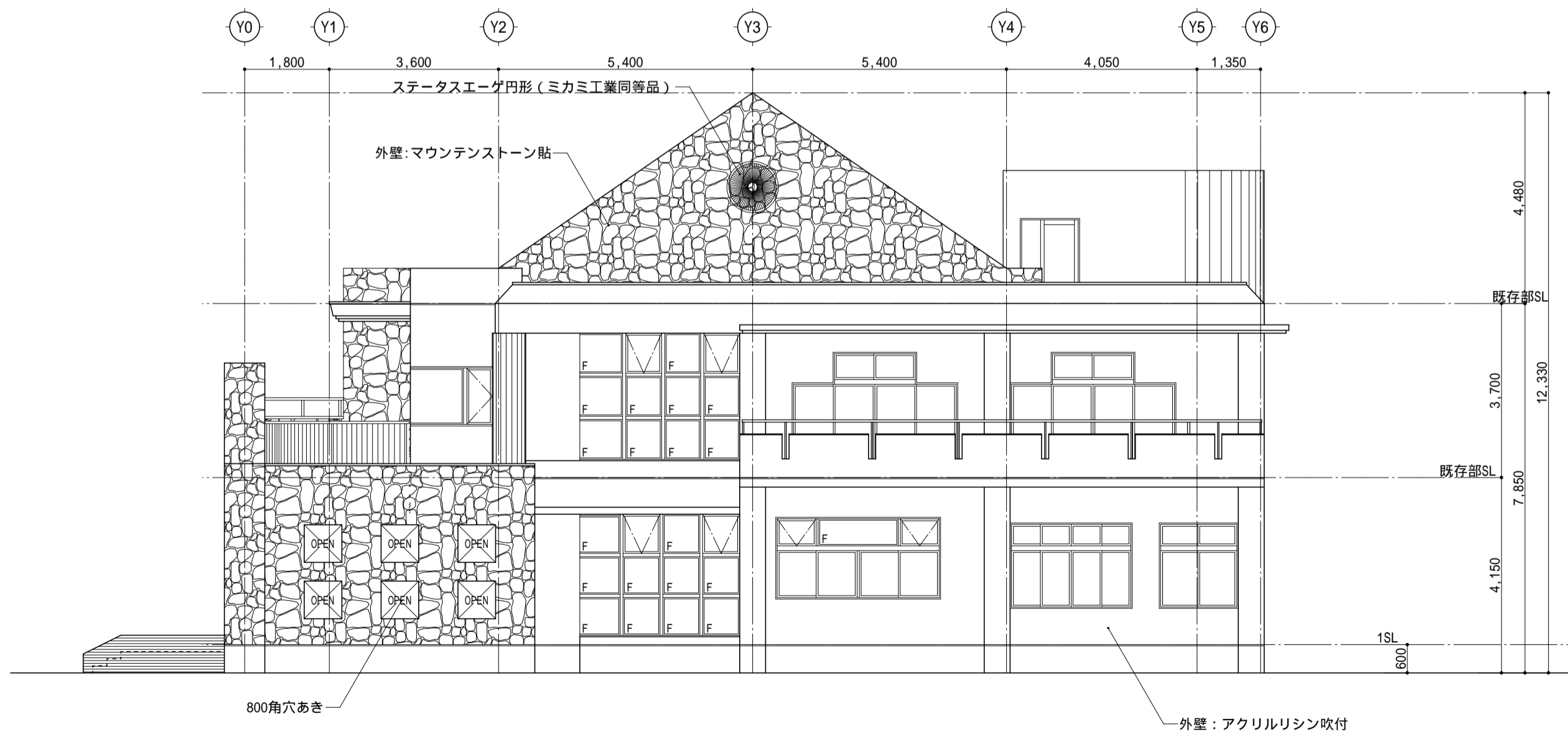
	承認	設計	担当	縮尺	釜無川レクリエーションセンター解体工事	A -10
				1/100		
				設計年月日	既存建物 機械室、ピット平面図	NO.
				20260224		



外壁: アクリルリシン吹付

北立面図

SCALE 1/100



800角穴あき

東立面図

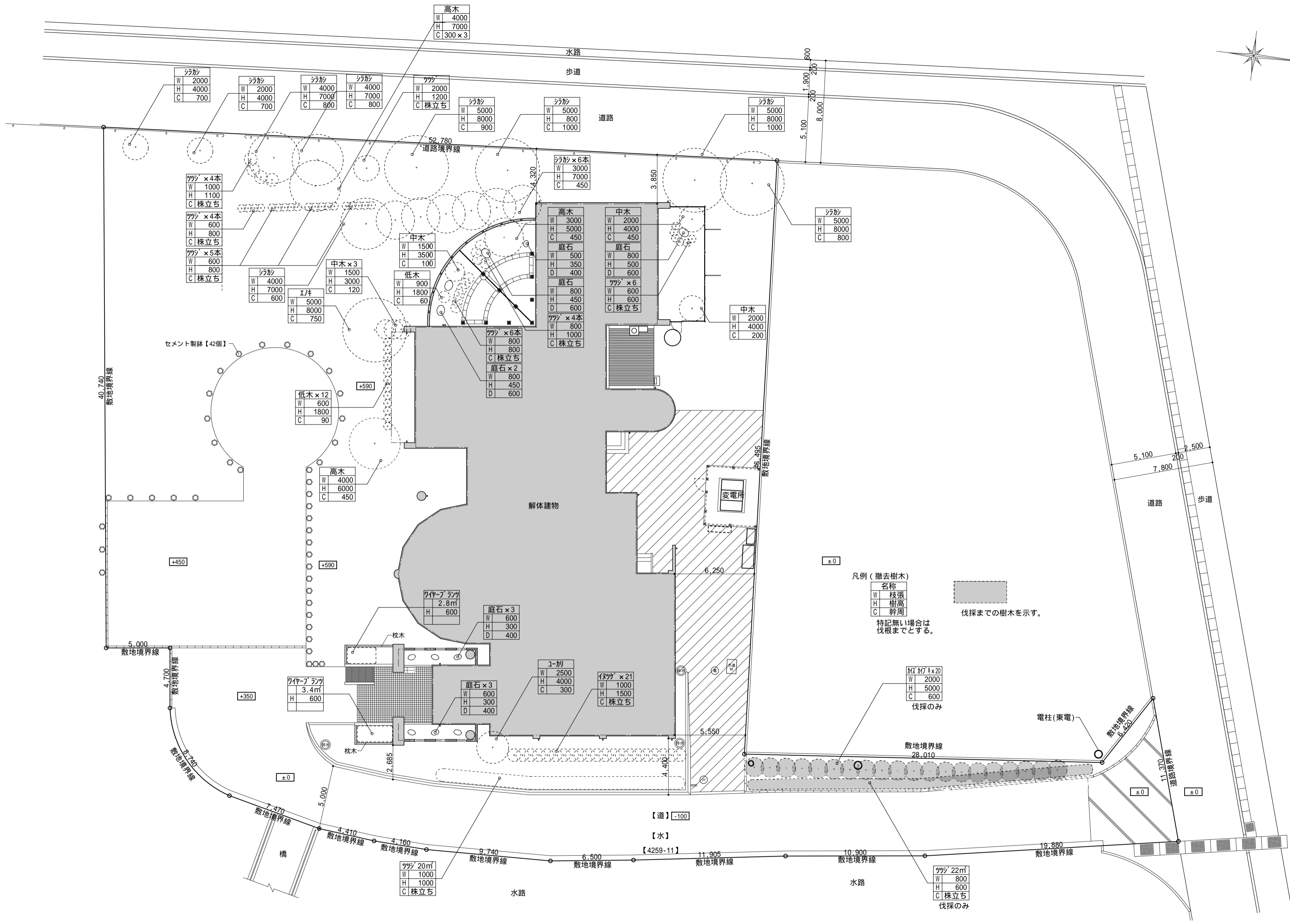
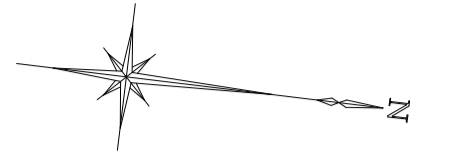
SCALE 1/100

外壁: アクリルリシン吹付

承認	設計	担当	縮尺
			1/100
			設計年月日
			20260224

釜無川レクリエーションセンター解体工事

既存建物 北・東立面図

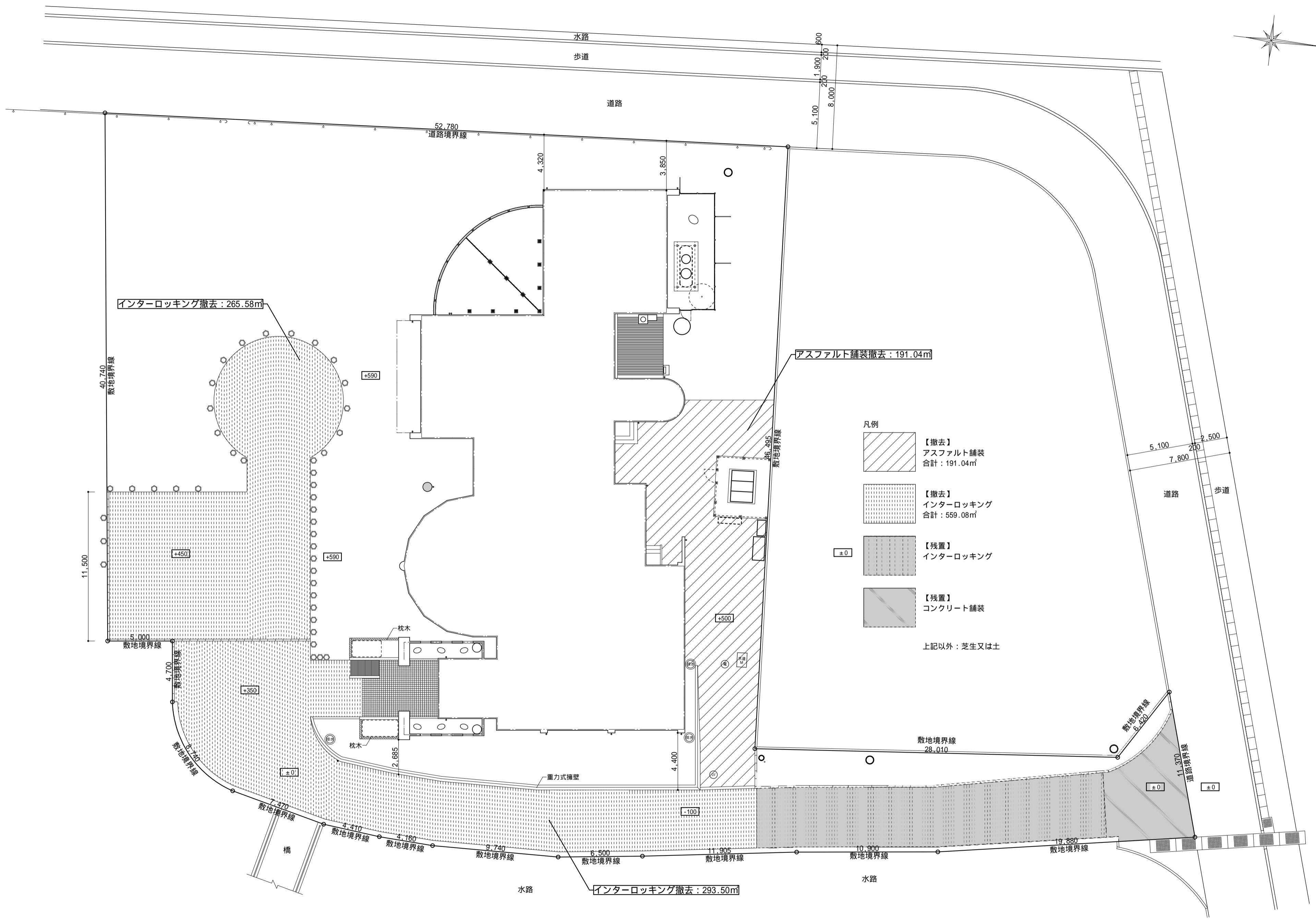
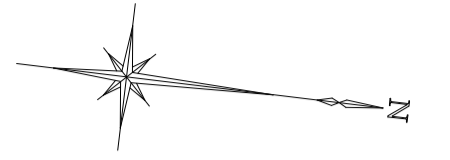



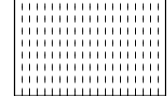

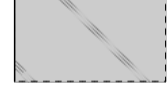
凡例 (撤去樹木)
 名称
 W 枝張
 H 樹高
 C 幹周
 特記無い場合は
 伐根までとする。
 伐採までの樹木を示す。

桜 20
 W 2000
 H 5000
 C 600
 伐採のみ

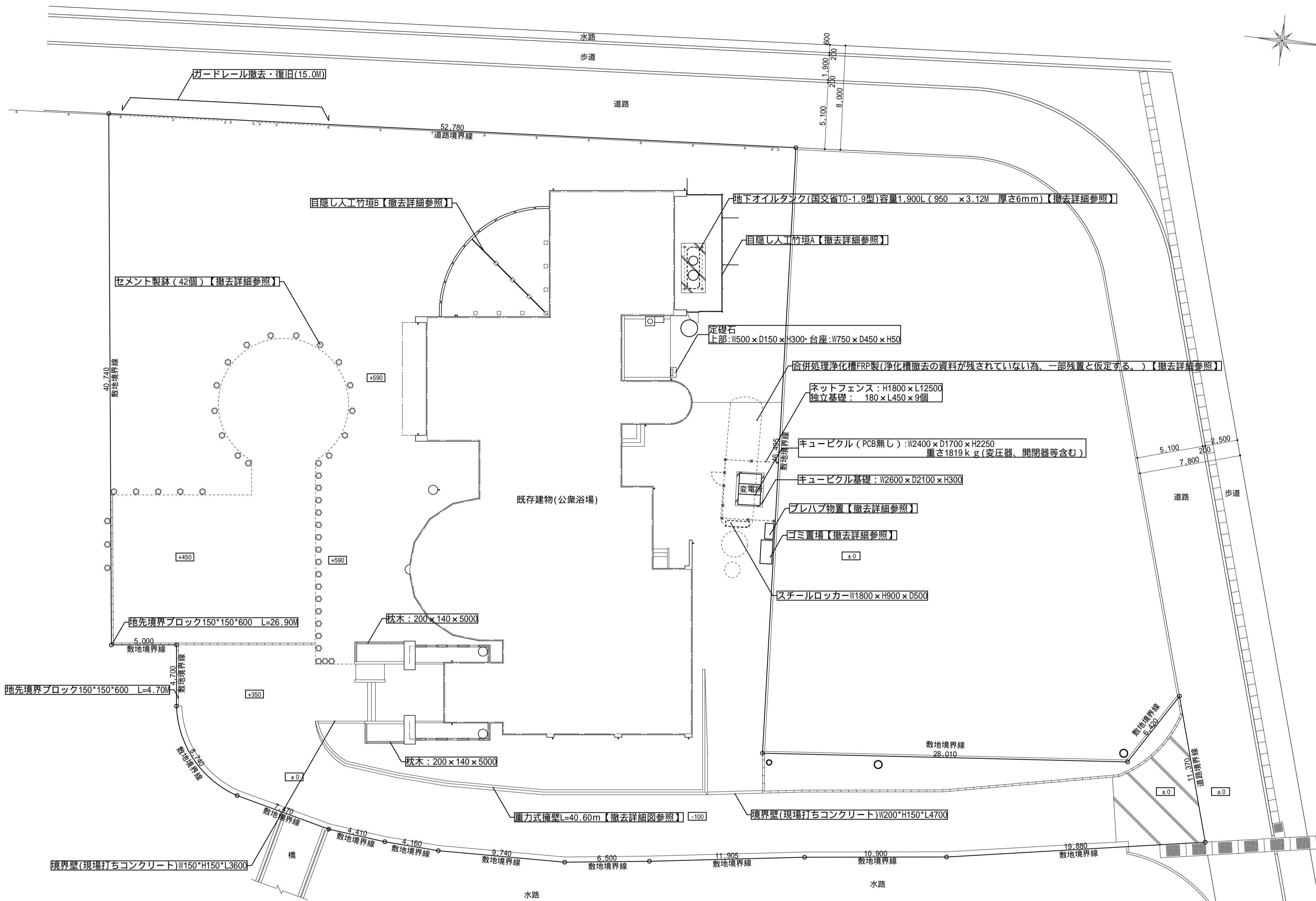
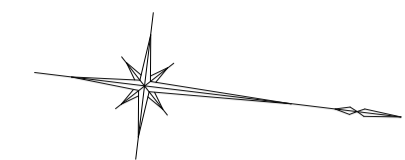
ツツジ 22m
 W 800
 H 600
 C 株立ち
 伐採のみ

【道】 -100
 【水】
 【4259-11】

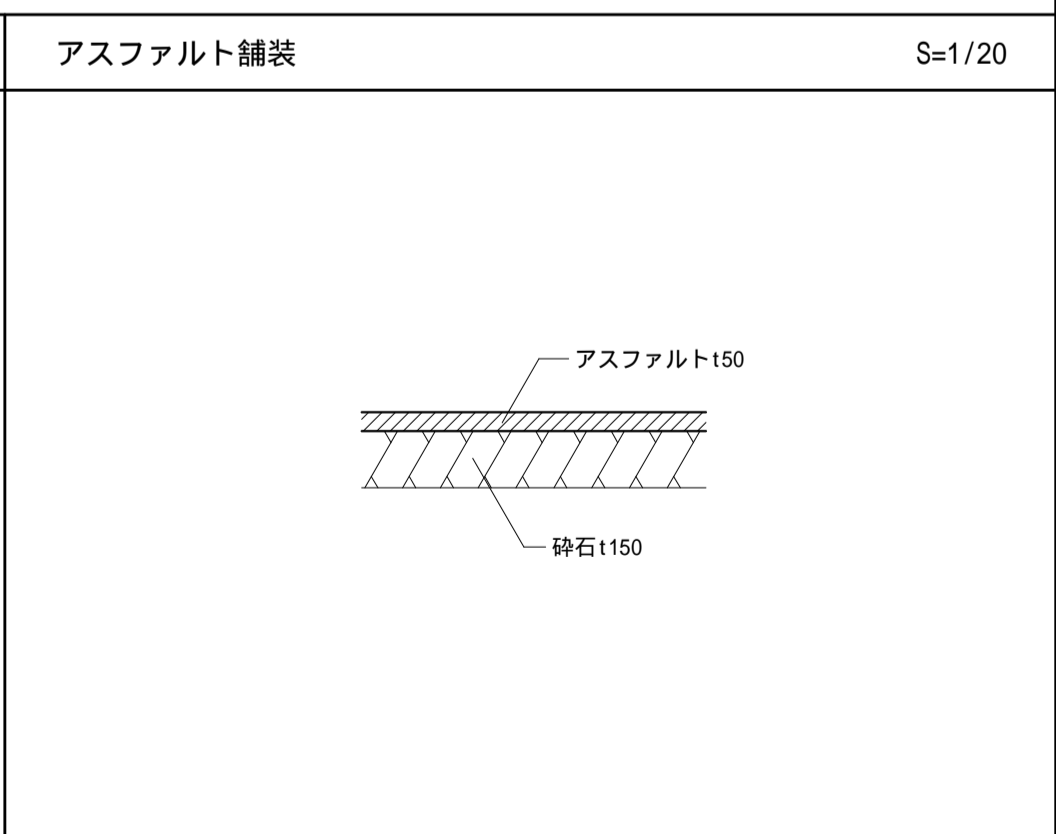
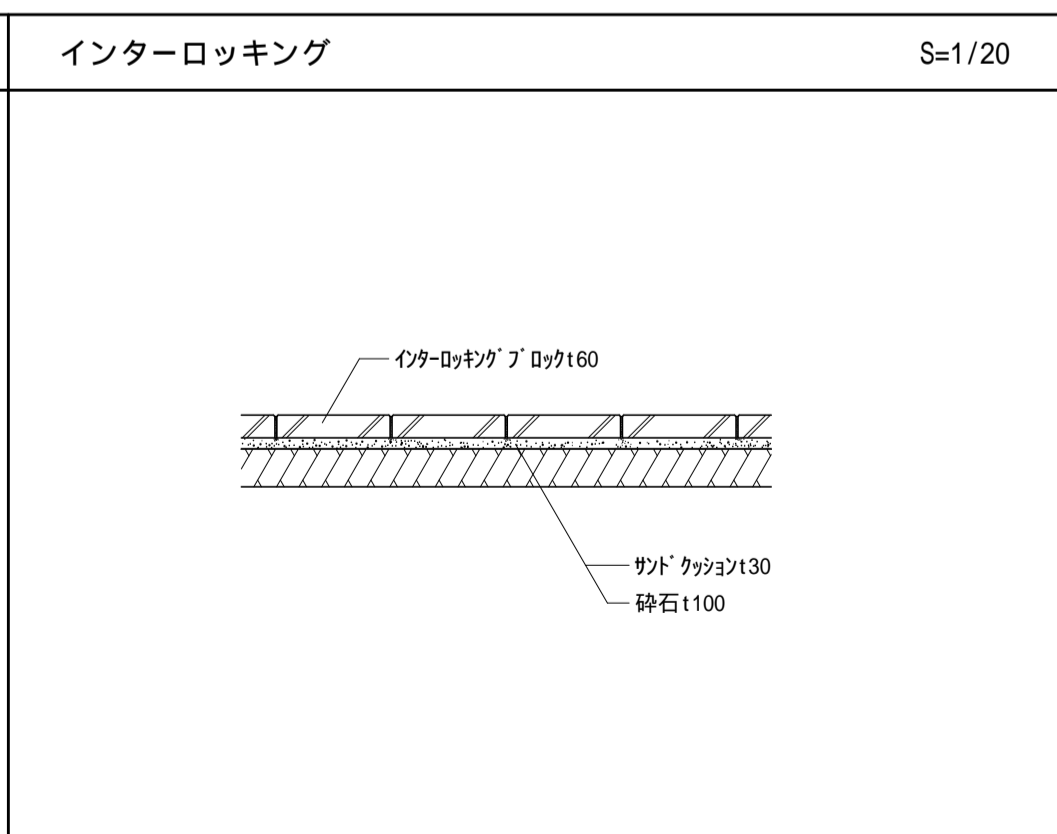
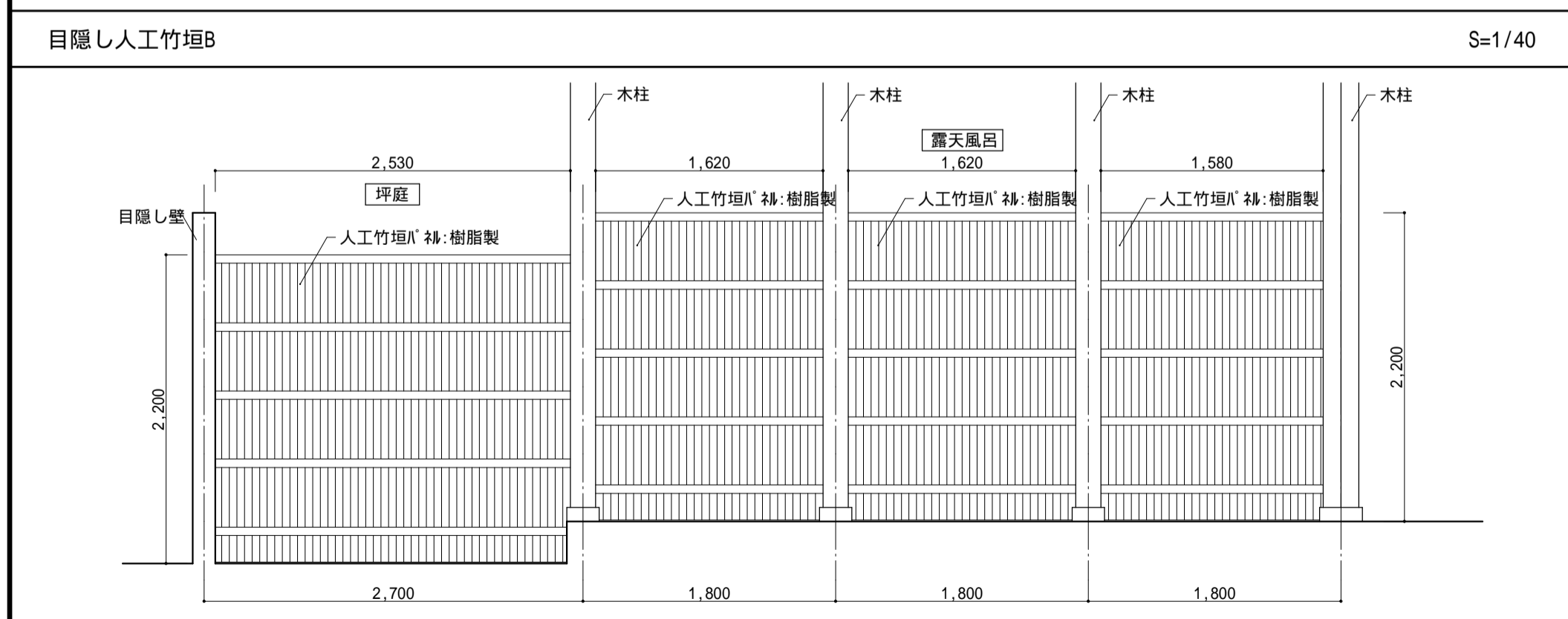
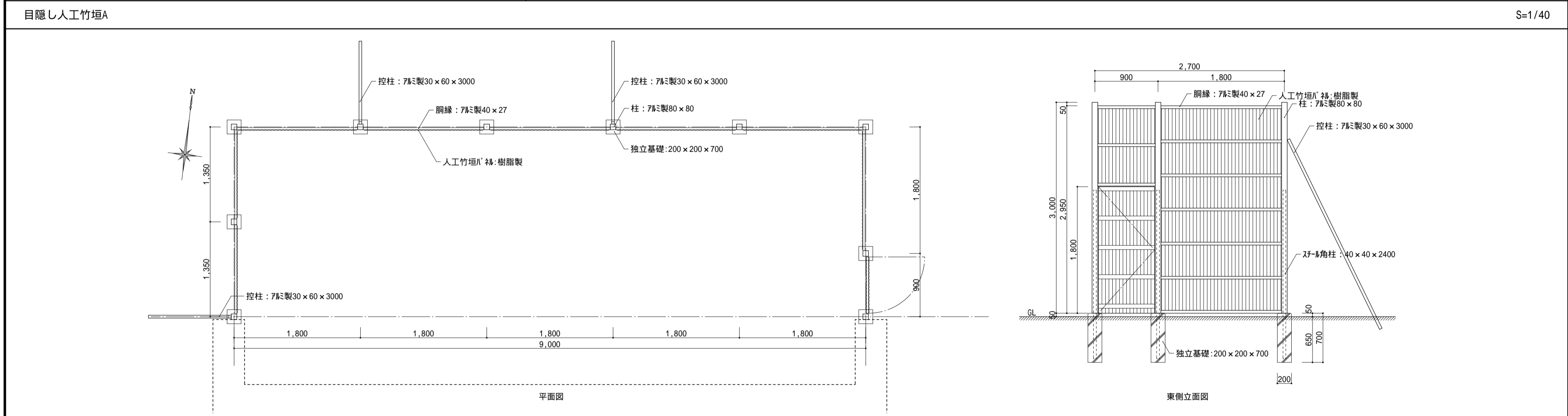
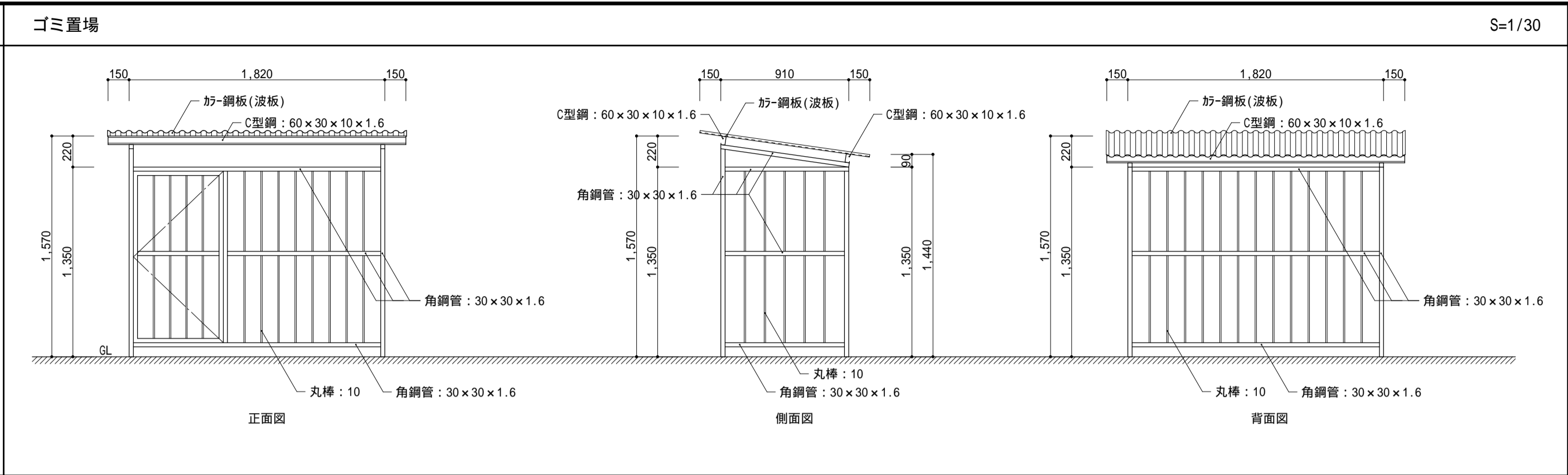
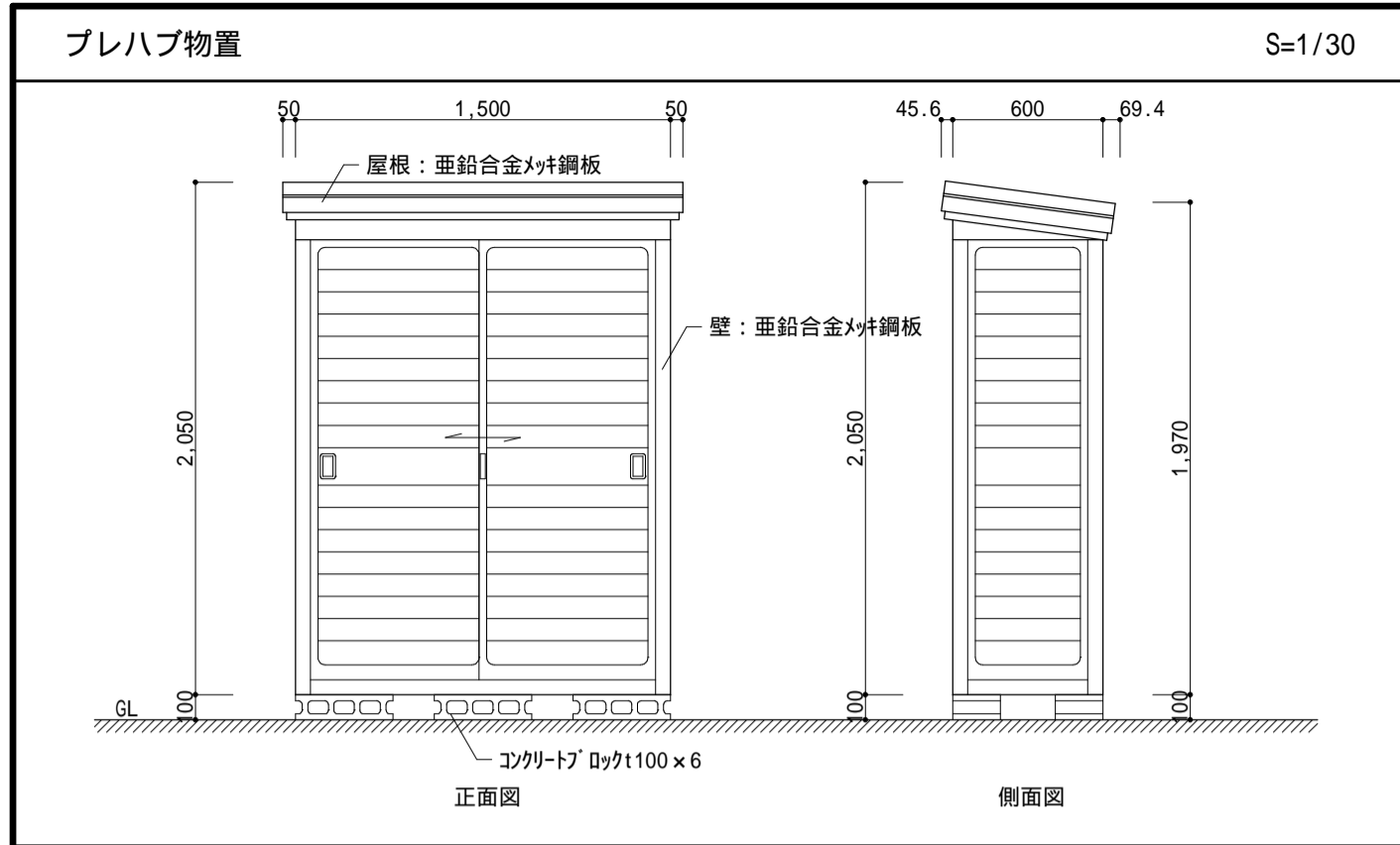


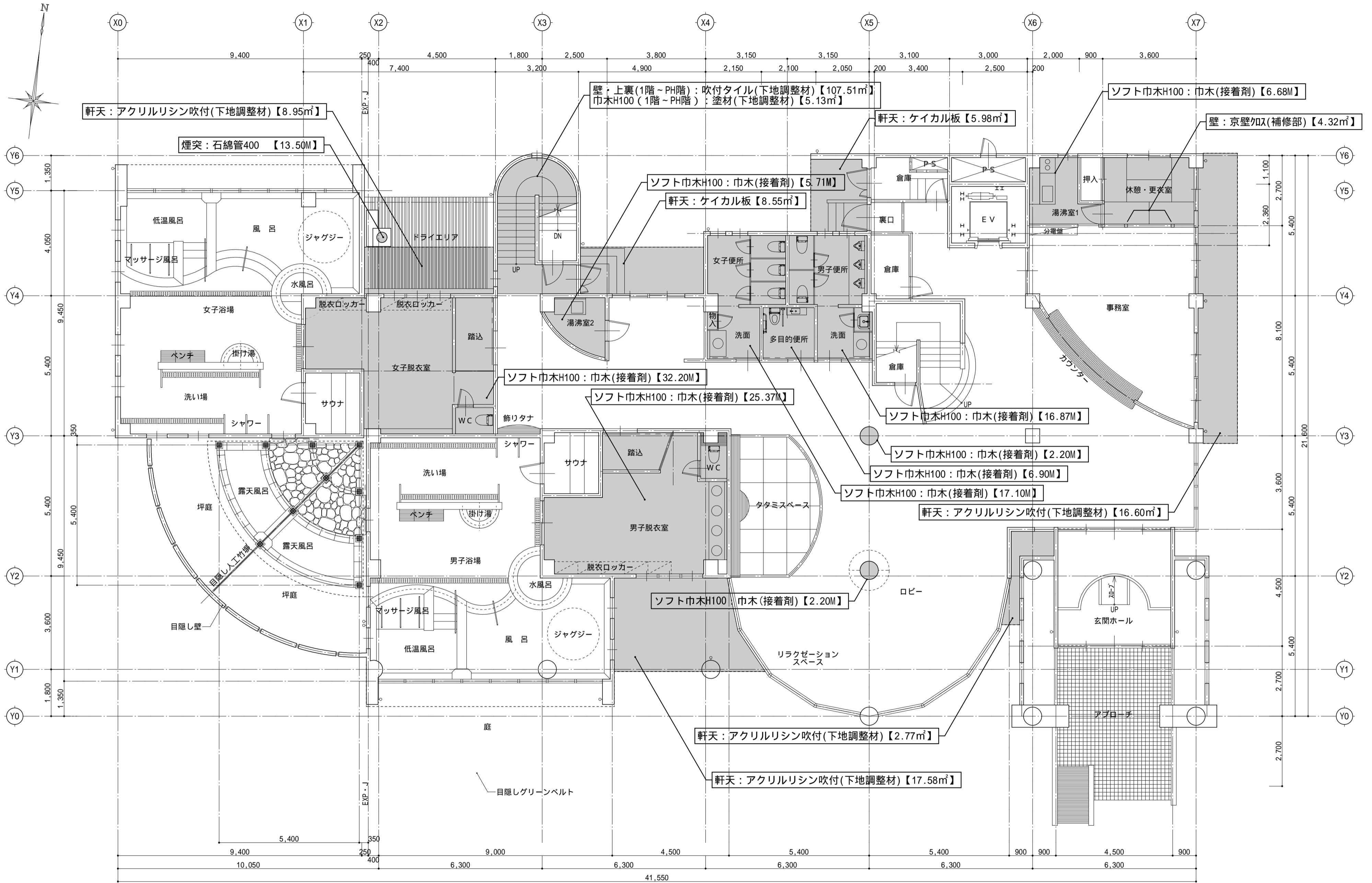
- 凡例
-  【撤去】
アスファルト舗装
合計: 191.04㎡
 -  【撤去】
インターロッキング
合計: 559.08㎡
 -  【残置】
インターロッキング
 -  【残置】
コンクリート舗装
- 上記以外: 芝生又は土

	承認	設計	担当	縮尺	釜無川レクリエーションセンター解体工事	A -14
				1/200		
				設計年月日	舗装撤去図	NO.
				20260224		



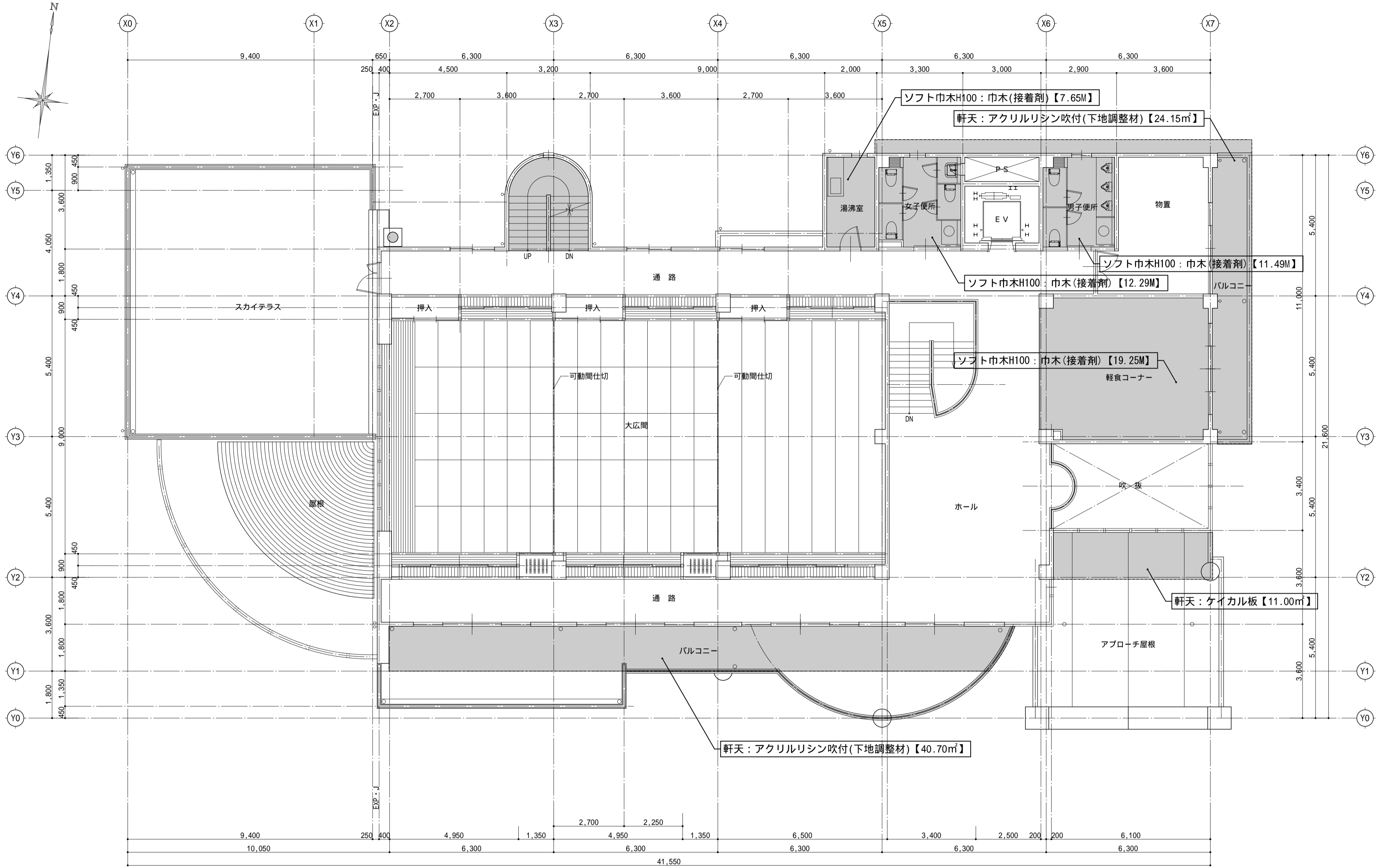
承認	設計	担当	縮尺	釜無川レクリエーションセンター解体工事	A -15 NO.
			1/200	付帯施設等撤去図	
			設計年月日 20260224		





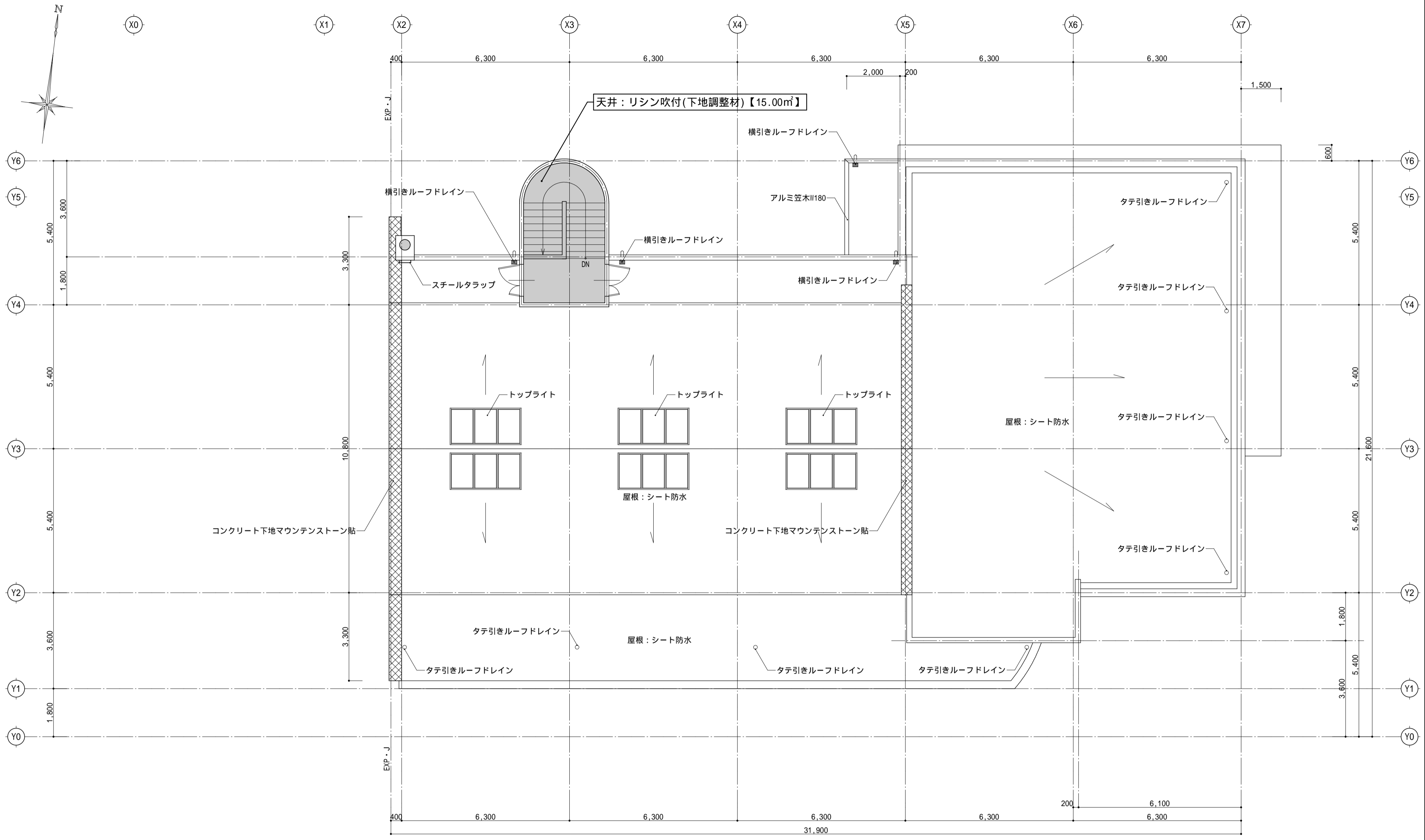
アスベストのレベルは特記無き場合「3」とする。

承認	設計	担当	縮尺	釜無川レクリエーションセンター解体工事		A -18
				1/100	アスベスト撤去図 1階平面図	
設計年月日			20260224	NO.		



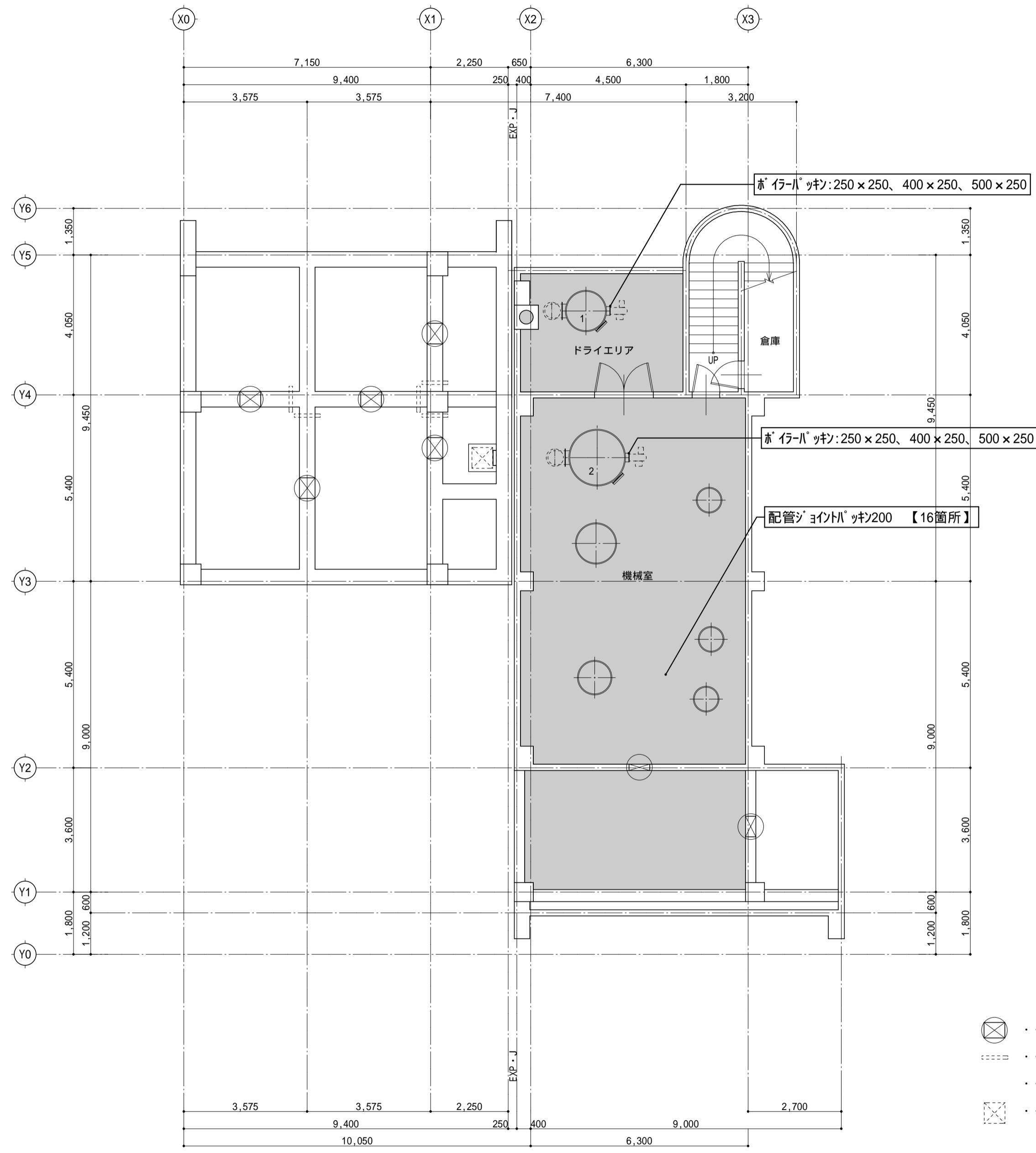
アスベストのレベルは特記無き場合「3」とする。





承認	設計	担当	縮尺	釜無川レクリエーションセンター解体工事		A -19
				1/100	アスベスト撤去図 2階平面図	
設計年月日			20260224			NO.



アスベストのレベルは特記無き場合「3」とする。

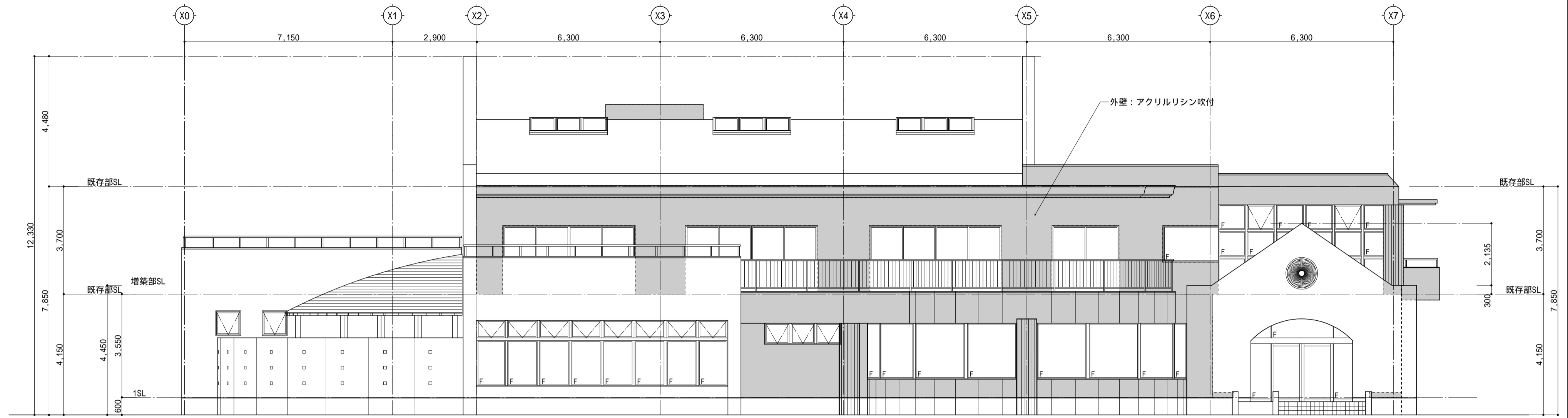
	承認	設計	担当	縮尺	釜無川レクリエーションセンター解体工事		A -20
					縮尺	1/100	
				設計年月日	20260224		NO.



-  ... 人通り口 600 x 600 7箇所
-  ... 連通管 100 (下部) 5箇所
-  ... 連通管 50 (上部) 5箇所
-  ... 床点検口 600 x 600製
- スチルスチップ 22 L=400 3本

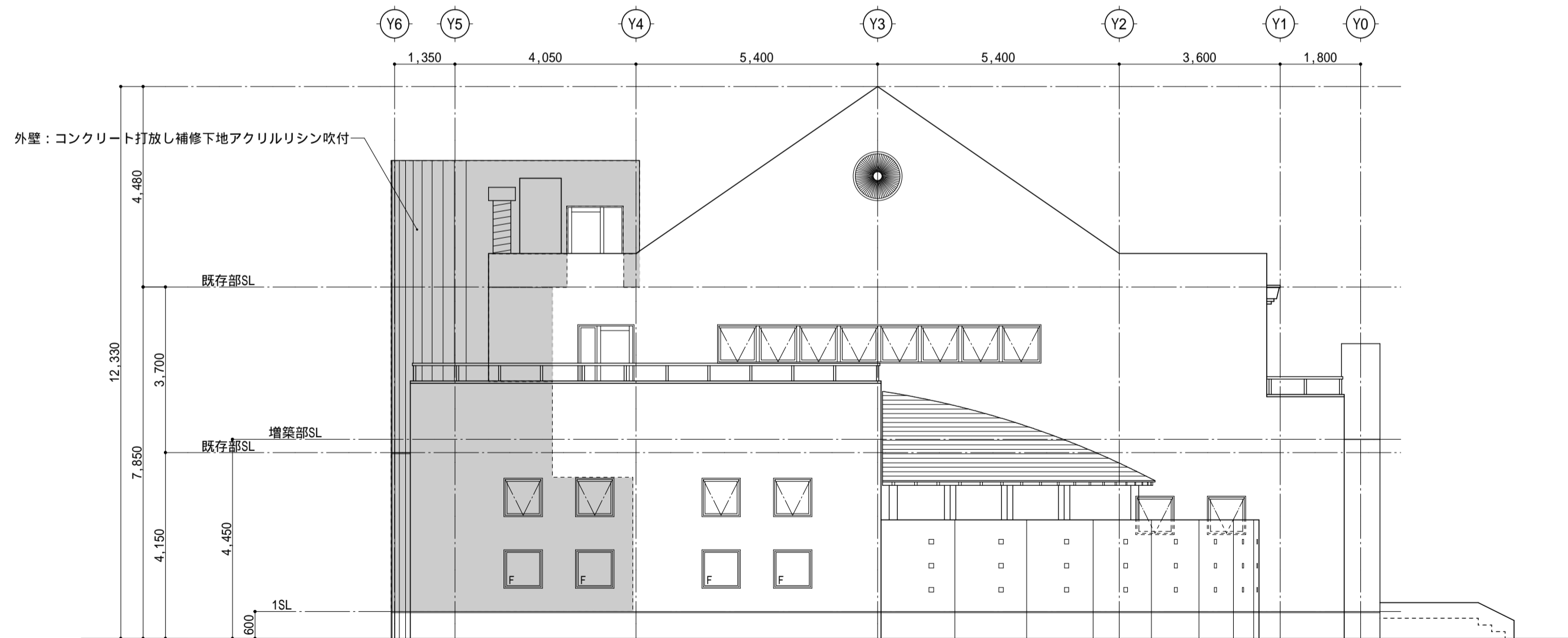
アスベストのレベルは特記無き場合「3」とする。

	承認	設計	担当	縮尺	釜無川レクリエーションセンター解体工事	A -21
				1/100		
				設計年月日	アスベスト撤去図 B1階平面図	NO.
				20260224		



南立面図 SCALE 1/100

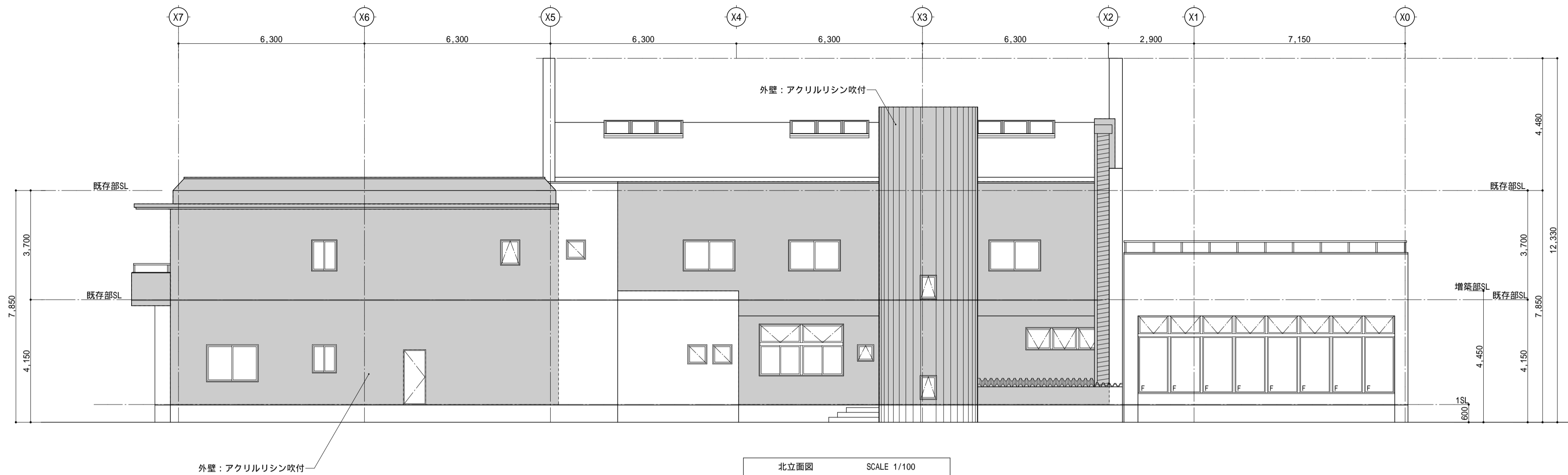
アスベスト除去部分を示す。
 外壁(既存部分)：アクリルリシン吹付(下地調整材)：合計585.43㎡



西立面図 SCALE 1/100

アスベストのレベルは特記無き場合「3」とする。

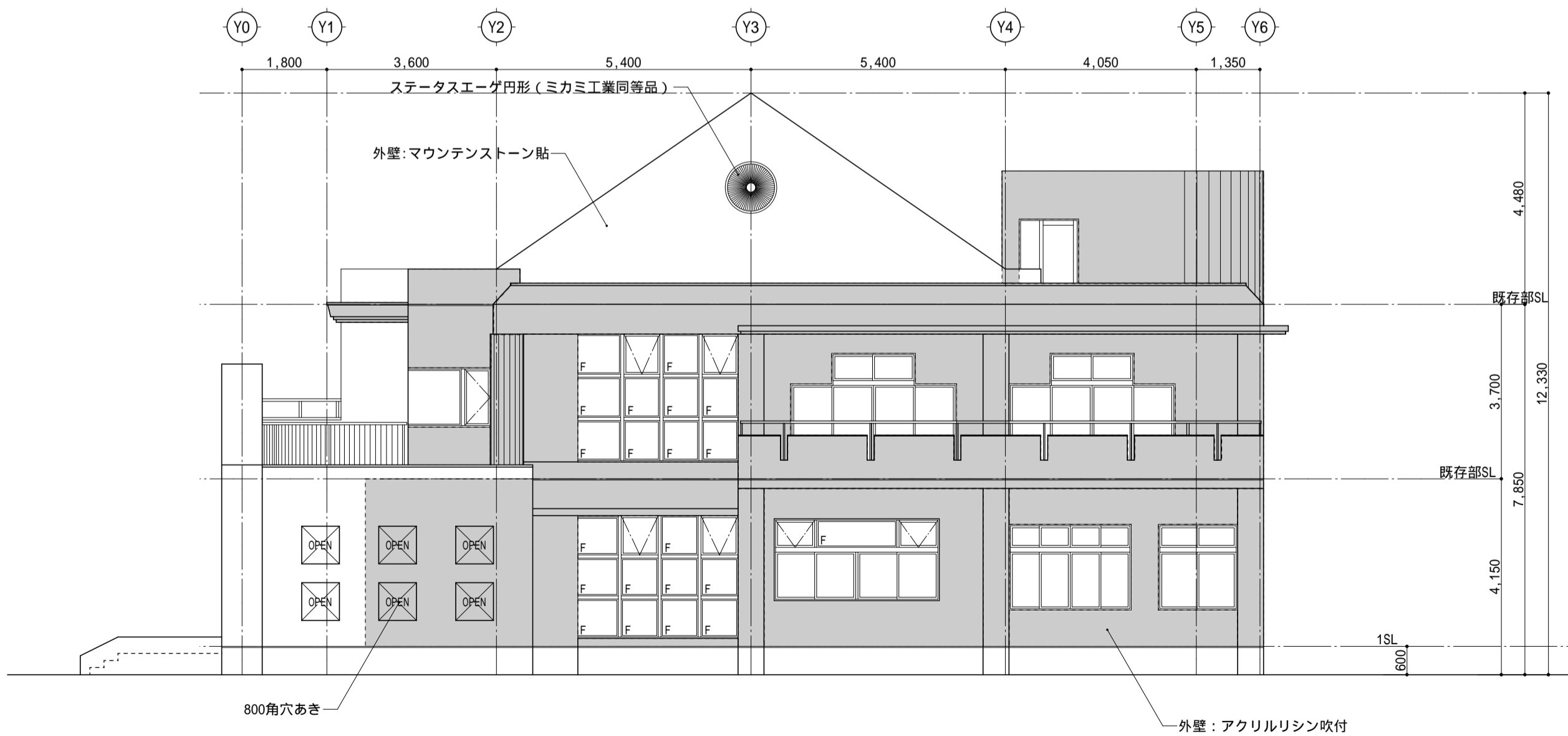
	承認	設計	担当	縮尺	釜無川レクリエーションセンター解体工事	A -22
				1/200		
				設計年月日	アスベスト除去図 立面図 1	NO.
				20260224		



外壁: アクリルリシン吹付

北立面図 SCALE 1/100

アスベスト除去部分を示す。
 外壁(既存部分): アクリルリシン吹付(下地調整材): 合計585.43㎡



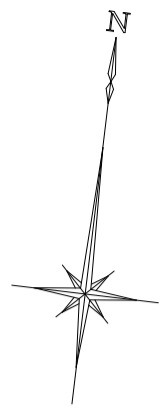
800角穴あき

東立面図 SCALE 1/100

外壁: アクリルリシン吹付

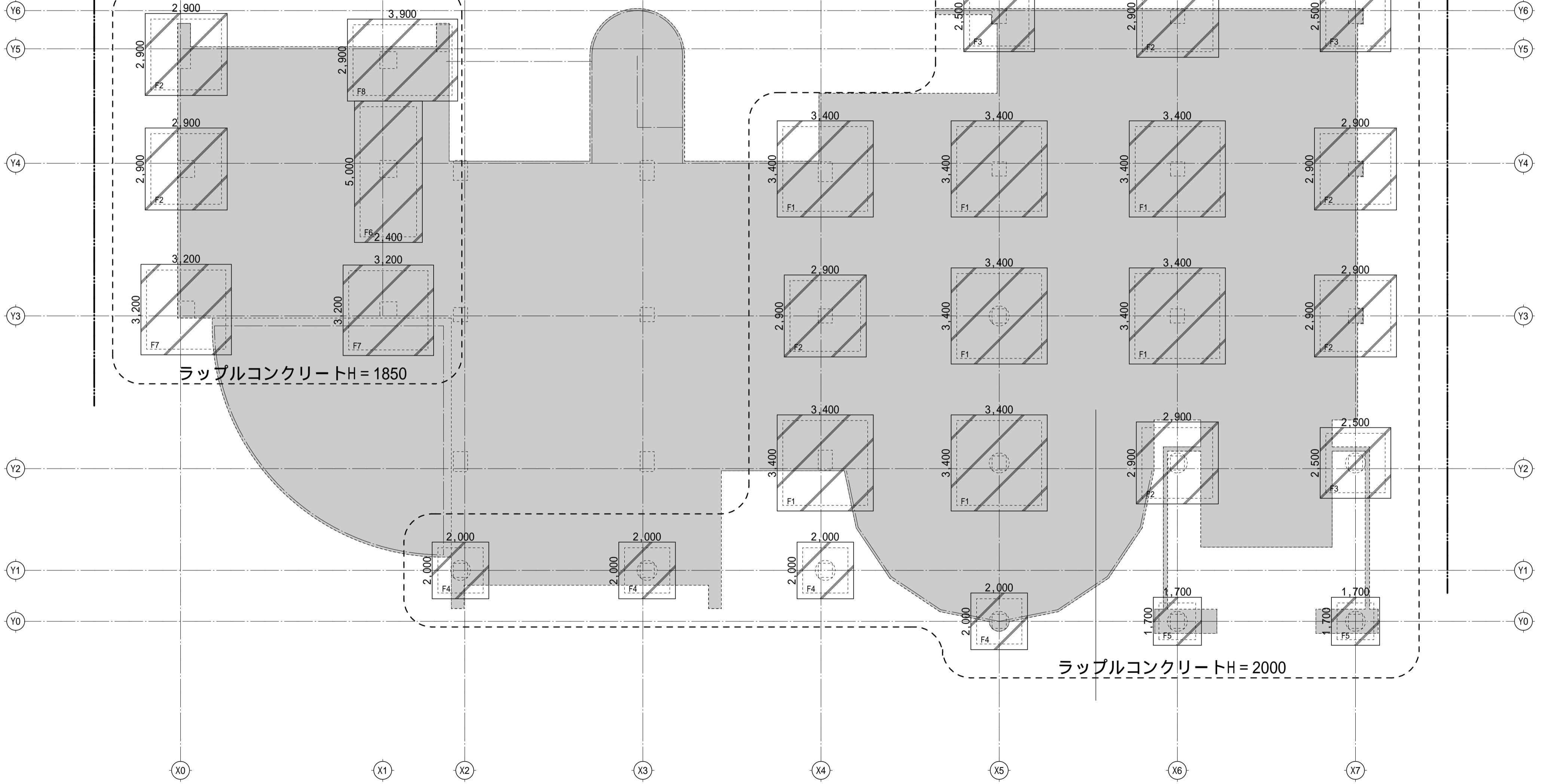
アスベストのレベルは特記無き場合「3」とする。

	承認	設計	担当	縮尺	釜無川レクリエーションセンター解体工事	A -23
				1/200		
				設計年月日	アスベスト除去図 立面図 2	NO.
				20260224		



X0 X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7

鋼矢板(自立山留め) 型(圧入工法)
周長:103M、根切深さ:3.4M、根入深さ:3.4M
側壁面積:88 × 6.8 = 598m²



ラップルコンクリートH=1850

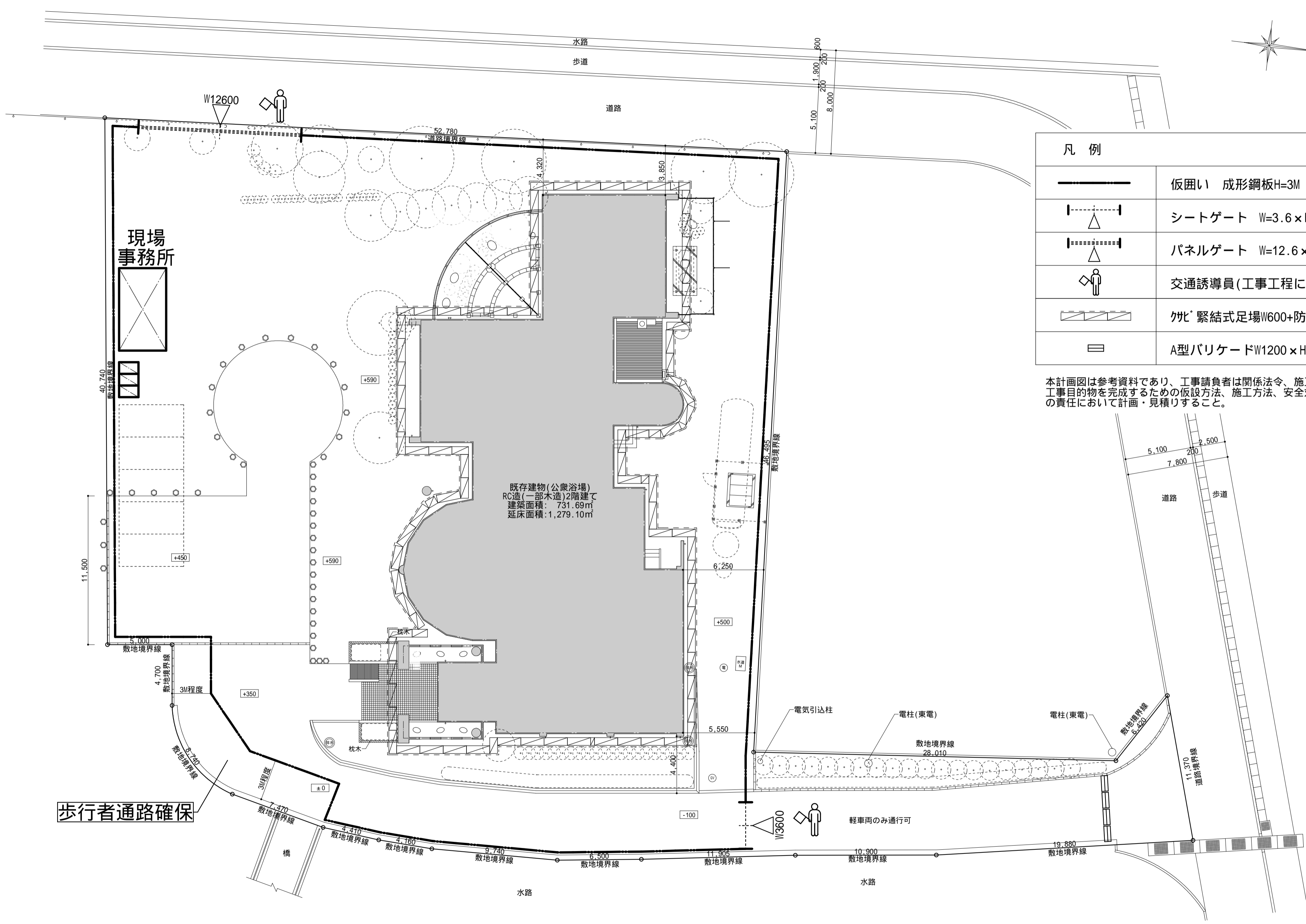
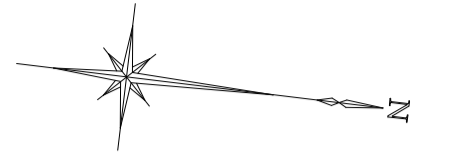
ラップルコンクリートH=2000

ラップルコンクリートの底盤はGL-3400

承認	設計	担当	縮尺
			1/100
			設計年月日
			20260224

釜無川レクリエーションセンター解体工事

ラップルコンクリート位置図



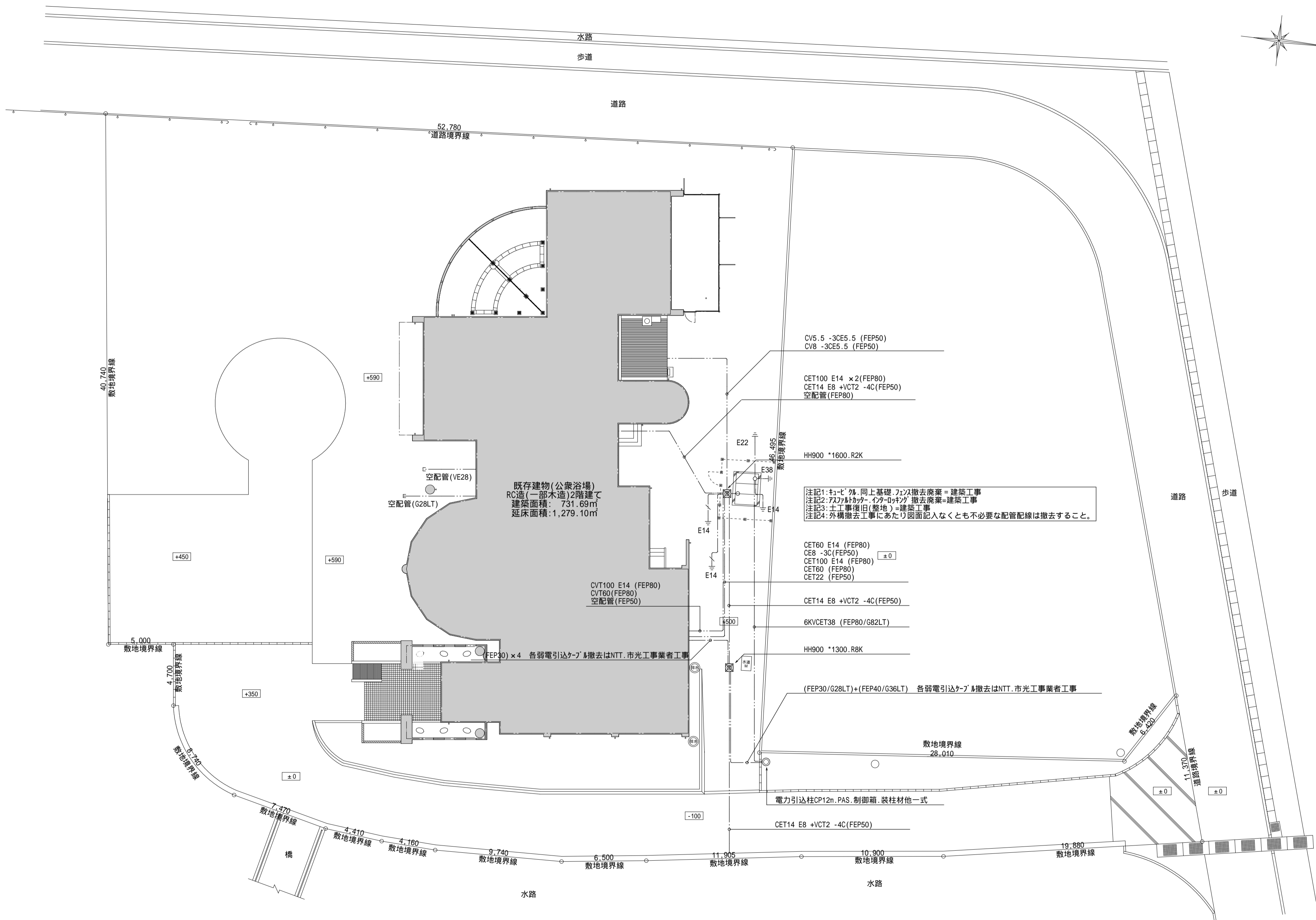
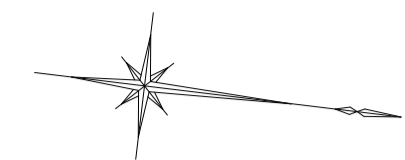
凡例	
	仮囲い 成形鋼板H=3M 【190M】
	シートゲート W=3.6×H=4.5×1箇所
	パネルゲート W=12.6×H=2.0×1箇所
	交通誘導員(工事工程により適宜配置)
	クハ' 緊結式足場W600+防音パ' 祉
	A型バリケードW1200×H800 4基

本計画図は参考資料であり、工事請負者は関係法令、施工条件等を考慮して工事目的物を完成するための仮設方法、施工方法、安全対策等を工事請負者の責任において計画・見積りすること。

既存建物(公衆浴場)
RC造(一部木造)2階建て
建築面積: 731.69㎡
延床面積: 1,279.10㎡

歩行者通路確保

承認	設計	担当	縮尺	釜無川レクリエーションセンター解体工事	A -26
			1/200		
			設計年月日	仮設計画図	NO.
			20260224		



注記1: キーレール、同上基礎、天井撤去廃棄=建築工事
 注記2: アスファルト、インターロック撤去廃棄=建築工事
 注記3: 土工事後旧(整地)=建築工事
 注記4: 外構撤去工事にあたり図面記入なくとも必要な配管配線は撤去すること。

CET60 E14 (FEP80) ±0
 CE8 -3C(FEP50)
 CET100 E14 (FEP80)
 CET60 (FEP80)
 CET22 (FEP50)

CET14 E8 +VCT2 -4C(FEP50)
 6KVCET38 (FEP80/G82LT)
 HH900 *1300.R8K

(FEP30/G28LT)+(FEP40/G36LT) 各弱電引込ケーブル撤去はNTT.市光工事業者工事

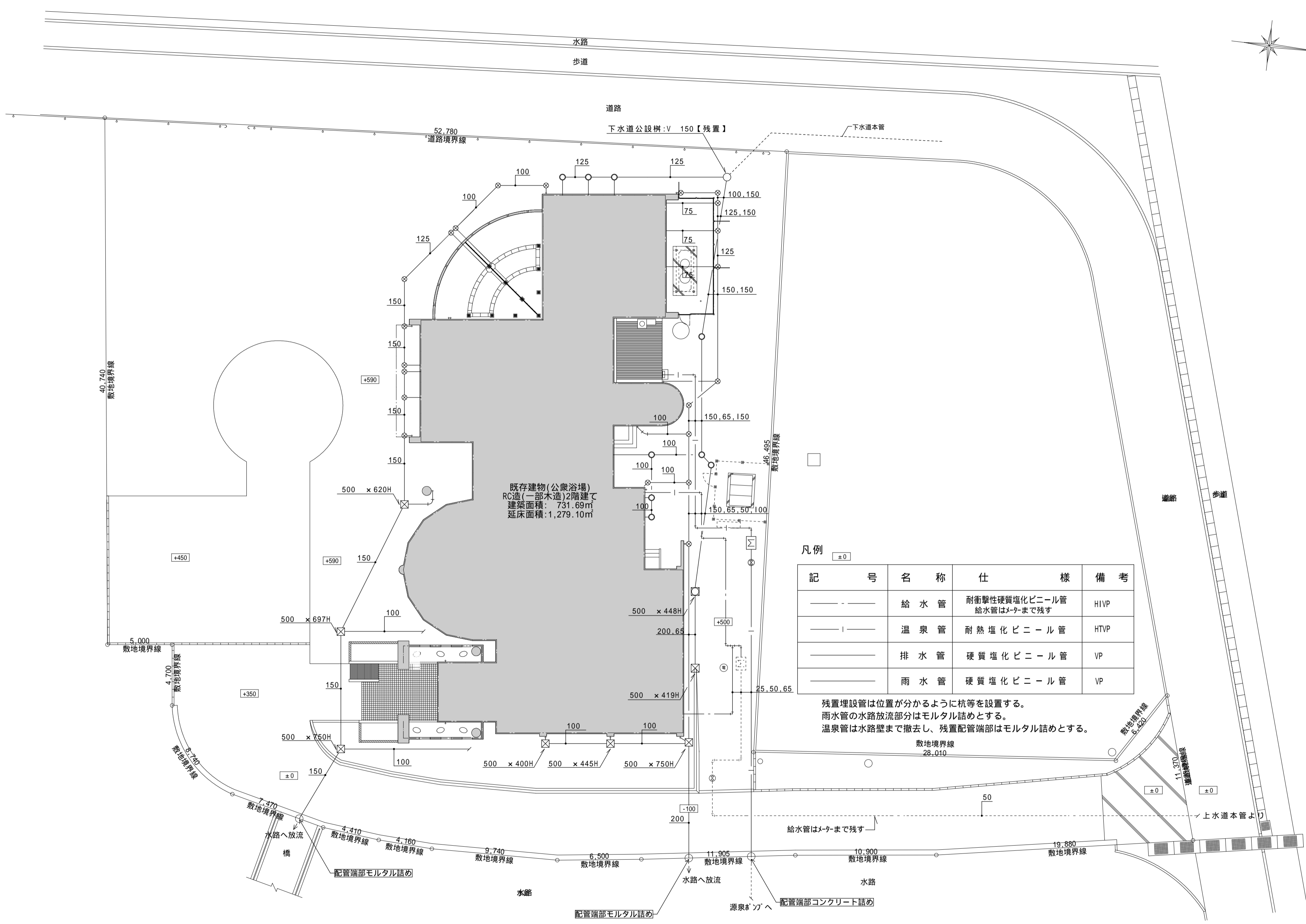
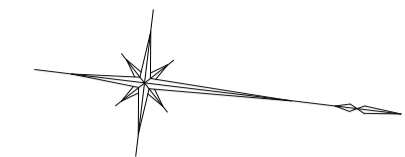
電力引込柱CP12m.PAS.制御箱.装柱材他一式
 CET14 E8 +VCT2 -4C(FEP50)

承認	設計	担当

縮尺 1/200
 設計年月日 20260224

釜無川レクリエーションセンター解体工事

外部電気設備配管等 撤去図



凡例

記号	名称	仕様	備考
— —	給水管	耐衝撃性硬質塩化ビニール管 給水管はメ-ケまで残す	HIVP
— —	温泉管	耐熱塩化ビニール管	HTVP
— —	排水管	硬質塩化ビニール管	VP
— —	雨水管	硬質塩化ビニール管	VP

残置埋設管は位置が分かるように杭等を設置する。
 雨水管の水路放流部分はモルタル詰めとする。
 温泉管は水路壁まで撤去し、残置配管端部はモルタル詰めとする。